

事務事業及び予算の執行実績
(令和6年度分「一部、令和7年度分を含む」)

静岡県立吉田特別支援学校

目 次

1	事務事業の概要	1
2	事務執行の根拠法令調	28
3	学校施設の概要	30
4	在籍生徒調	31
5	入学志願者及び入学者数調	33
6	卒業生の動向調	34
7	生徒の状況	35
8	特別支援学校における生産物売払調	37
9	預金調	38
10	郵券等受払調	39
11	委託料等歳出予算執行状況節別集計表	40
12	委託料に関する調	41
13	負担金支出調	46
14	建築工事調	48
15	公有財産調	50
16	借地借家等調	51
17	事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調	52
18	行政財産貸付・使用許可調	53
19	主要備品調	54
20	職員調	55
21	職員の年齢調	60
22	健康管理	61

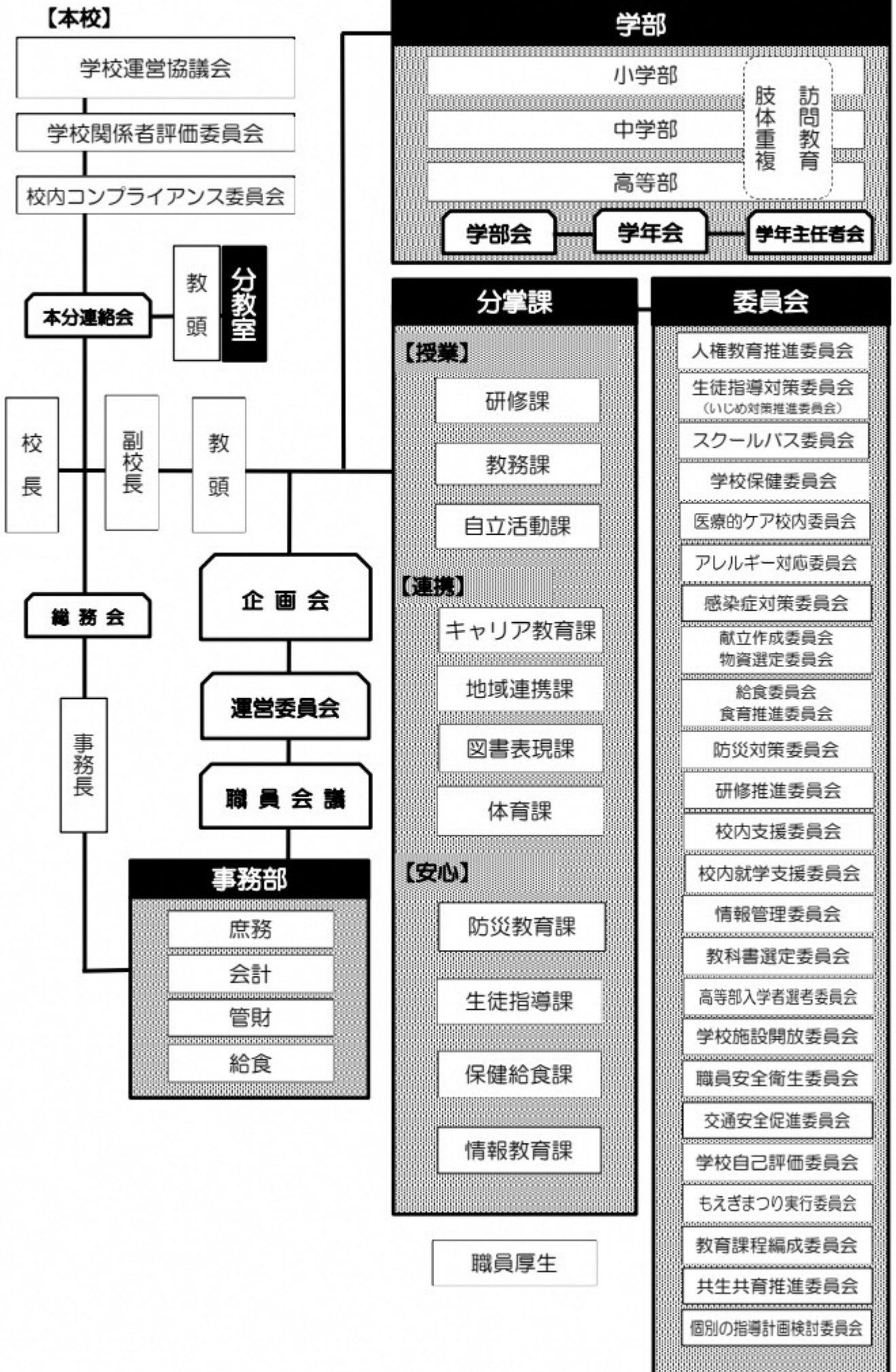
事務事業の概要

1 概況

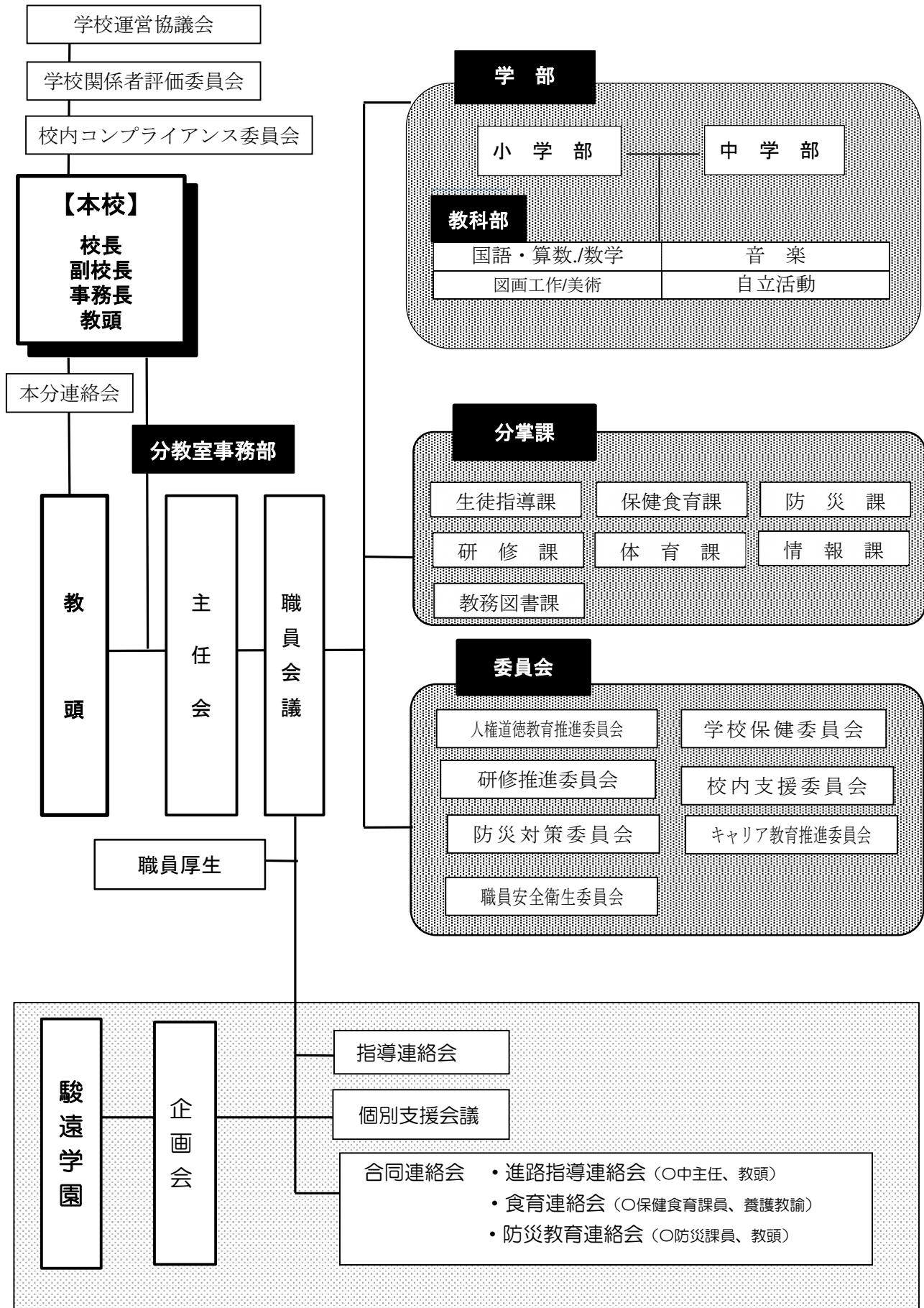
(1) 学校の沿革

- 平成19年6月7日 県議会議長に対し、榛南地域養護学校設置実行委員会実行委員長、藤枝養護学校PTA会長から「榛南地区に特別支援学校の設置を求める要望」（署名9,426人）が提出
- 平成21年9月15日 県知事、県議会議長、県教育長に対し、志太榛原地域特別支援学校設置実行委員会、藤枝特別支援学校PTAから「志太榛原地域の特別支援学校設置要望書」（署名20,440人）が提出
- 平成22年9月14日 県知事、県議会議長、県教育長に対し、志太榛原地域特別支援学校設置実行委員会委員長、藤枝特別支援学校PTA会長、県手をつなぐ育成会会長他から「志太榛原地域の特別支援学校設置要望書」が提出
- 平成22年10月25日 吉田町長に対し、志太榛原地域特別支援学校設置実行委員会委員長、藤枝特別支援学校PTA会長、県手をつなぐ育成会会長他から「榛原地域の特別支援学校設置要望書」が提出
- 平成23年3月 県教育委員会策定の「静岡県立特別支援学校施設整備計画」において、榛南地区への特別支援学校本校の設置（H27開校予定）が盛り込まれる
- 平成24年9月24日 「吉田高校と大井川高校の統合再編に係る説明会」（地元説明会）において、特別支援学校の設置候補地について説明
- 平成25年6月24日 県教育委員会定例会において、榛南地区特別支援学校の敷地を県立吉田高等学校の敷地とすることを決定
- 平成26年1月23日 県教育委員会定例会において、榛南地区特別支援学校の校名案を「静岡県立吉田特別支援学校」に決定
- 平成26年3月2日 県立吉田高等学校閉校式
- 平成26年3月19日 県議会2月定例会において「静岡県立学校設置条例の一部を改正する条例」が議決され、校名が正式に「静岡県立吉田特別支援学校」に決定
- 平成26年4月1日 県立藤枝特別支援学校に「静岡県立吉田特別支援学校設置準備委員会」を設置
- 平成26年7月17日 開校および校舎改修等工事に係る地元説明会
- 平成26年7月 校舎改修工事着工
- 平成26年10月21日 「静岡県立吉田特別支援学校設置準備委員会」第5回委員会において校章を決定
- 平成27年3月19日 校舎改修等工事完了（特別教室等、管理教室等、本館校舎、体育館）新築（スロープ棟、エレベータ棟、バス昇降所、プール）
- 平成27年4月1日 静岡県立吉田特別支援学校設置
- 平成27年4月10日 始業式（小学部53人 中学部38人 高等部23人）・入学式挙行
- 平成27年4月15日 開校記念式典挙行
- 平成28年3月10日 第1回 高等部卒業証書授与式挙行
- 平成28年3月18日 第1回 小学部・中学部卒業証書授与式挙行
- 平成28年11月16日 校歌制定（作詞：校歌プロジェクト委員会、作曲：栗林 均）

(2) 組織図



【駿遠分教室】



2 目指す学校像

(1) 教育理念 「つながり合い、学び合う」

- ・ すべての人が地域の中で自分らしく、つながり合う共生社会の推進に貢献する学校
- ・ 一人一人の人権・個性を尊重し、自立と社会参加を目指し、仲間と共に学び合える学校

(2) 学校教育目標 「夢に向かって『いきいき、なかよく、すこやかに』学び、伸びゆく人」

- ・ 小学部 「元気に なかよく すすんで 活動できる児童」
- ・ 中学部 「自ら動き 仲間とともに 自信をもって生活できる生徒」
- ・ 高等部 「地域の中で 自分らしく 全力で力を発揮できる生徒」

(3) 目標具現化の柱

ア【本校】

(ア)【授業】自立に向けた12年間の学びが社会参加につながる学校

- 一人一人が、やりがいと手ごたえのある学校生活を授業が支えている
- 適切な自立活動の目標設定(個別の指導計画)と地域・保護者も参加する教育課程が両立している
- OJTにより教職員が専門性を高めあっている

(イ)【連携】地域と学校と家庭とが共に豊かに育つ学校

- キャリアパスポートを活用し、一人一人が自己理解を深め、自分らしく将来のことを夢見ている
- 吉田町に学校があることを活かしたコミュニティースクールが展開している
- 自分の好きや得意をスポーツや芸術、読書で表現しあっている

(ウ)【安心】自他を大切に作る心と体が育つ学校

- 1年を通して、多方面に身を守るための知識や技術が身につく学習を進めている
- 教職員は、自分事として安全研修、安全訓練、環境整備を進めている
- 教職員は「守るために学ぶ」姿勢を持っている

イ【駿遠分教室】

(ア)【授業】自立に向けた9年間の学びが社会参加につながる学校

- 一人一人が、やりがいと手ごたえのある学校生活を授業が支えている
- 適切な自立活動の目標設定(個別の指導計画)と保護者(学園)・地域も参加する教育課程が両立している
- OJTにより教職員が専門性を高めあっている

(イ)【連携】学校と家庭(学園)と地域が共に豊かに育つ学校

- キャリアパスポートを活用し、一人一人が自己理解を深め、自分らしく将来のことを夢見ている
- 「福用に学校があって良かった！」と感じてもらえる学習活動を展開している
- 自分の好きや得意をスポーツや芸術、読書で表現しあっている

(ウ)【安心】自他を大切に作る心と体が育つ学校

- 一年を通して、多方面に身を守るための知識や技術が身につく学習を進めている
- 教職員は、自分事として安全研修、安全訓練、環境整備を進めている
- 教職員は「守るために学ぶ」姿勢を持っている

3 監査対象期間の年度別学校経営の取組等

(1) 6年度の取組目標への評価及び成果と課題

ア【本校】(重点目標はゴシック体で記載)

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
安心・安全	ア 児童生徒の命を守り、互いの人格と多様性を認め合う教育活動の推進	・教職員自らが人権感覚や道徳心を高め、見本となる行動ができたと答える教職員 100%	97%	A	・各学部で実施している人権チェックは人権感覚を維持向上するのに有効だった。 ・小学部では、ありがとうカードを用いて良い行動を認め合う風土をつくった。
	イ 児童生徒が安心安全に生活できる教育環境の整備と教員の対応力向上	・児童生徒が安心安全に学校生活を送ることができるよう日常的に環境整備が行えたと答える教職員 100% ・学校経営予算の12月末執行率 70%以上 ・監査、検査等の結果における注意、指摘事項の区分 0件	99% 72.5% 4件	A	・毎月実施する安全点検では、点検表に基づきながら丁寧に安全管理ができた。児童生徒の動線や行動を予測した環境整備ができるようになり、職員の危機管理意識が高まった。 ・危険箇所や指導体制など、気づいた時は、学年やグループで共有し、すぐに対応することができた。 ・適切に予算執行し、教育効果の高い環境整備ができた。 ・物品検査で4件の注意事項があり、再発防止に努めた。
	ウ 事故や大規模災害等に備えた危機管理体制の強化	・事故や発災時の自らの役割を理解し、訓練では適切、迅速な行動をとれたと答える教職員 100% ・児童生徒自身が命を守る行動ができるよう、実態に応じた防災教育が実施できたと答える教職員 100%	100% 99%	A	・職員は事前に各自で危機管理マニュアルを見て自分の役割を確認した上で訓練に臨むことができた。 ・12月に防災の日を設定し、全校で非常食体験や避難所体験を行った。児童生徒は体験を通して防災意識や知識を習得できた。 ・イラストやキーワードを用いて児童生徒の発達段階や特性に応じた防災教育を行うことができた。
	エ 働きやすい職場環境づくりと組織的な対応ができる教員集団づくり	・日常業務や分掌業務を行う上で効果的・効率的な遂行を意識した業務改善に取り組めたと答える教職員 100% ・職場における良好な人間関係づくりを意識して、報連相や雑相に努めることができたと答える教職員 100%	85% 96%	B	・分掌課内でチャットグループを作り、情報共有するようにしている課があった。スピード感をもって対応することができ、会議時間が短縮できた。 ・日々の業務に追われ、効率を考えることまで至らなかった職員もいるが、「やめる」、「任せろ」、「創り出す」の視点で業務をと捉えなおすことができた。一方、効率ばかりを重視し、本質を見失うことがないようにしていきたい。 ・学年を超えて協力体制をとることができている。意見を言い合える環境である。

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
授 業	ア 学習指導要領を踏まえ、児童生徒の思考・判断・表現を引き出すための授業力の向上	・児童生徒が学習活動の中で、考えたり判断したりしながら力を発揮することのできる授業実践ができたと答える教職員 100%	97%	A	<ul style="list-style-type: none"> ・教師が一方的に教え込むのではなく、児童生徒自身が解決したい課題や問いについて考えたりこれまでの経験や知識を思い出したりしながら学びを深めることができた。 ・児童生徒の思考に沿った授業展開を工夫できた。
	イ 個別の指導計画における適切な目標設定と効果的な指導実践	・実態に応じた適切な個別の指導計画が作成でき、目標達成することができたと答える教職員 100%	97%	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学年や学習グループで個別の指導計画に基づいて個に応じた支援方法や目標設定をすることができた。 ・実情に応じて目標を変更することもある。正確な実態把握をし、保護者と内容の共有をしながら更新していきたい。
	ウ 12年間の成長と自立を見通した各部における教育課程の見直しと改善	・自立に向け、学年段階を踏まえた上で、実態に応じた指導実践を行い、成果が出たと答える教職員 100%	98%	A	<ul style="list-style-type: none"> ・グランドデザインに各学部及び各学年の目指す姿を掲げている。教員はその姿を意識しながら指導に当たることを共通認識でき、12年間のつながりを意識することができた。 ・検討を繰り返し、次年度は教育課程の変更を行うことになった。これまで以上に12年間のつながりを意識した学習内容が求められる。
	エ BYODを意識した、個に応じたICT活用の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・端末の活用方法やルールなど、個に応じた指導ができたと答える小中学部職員 100% ・卒業後の生活を見据え、情報モラルや個に応じたICTの活用方法を踏まえながら指導ができたと答える高等部職員 100% 	82% 97%	B	<ul style="list-style-type: none"> ・職員のパソコンスキルアップ講座を実施したり各学部でICT活用事例を共有したりした。個人差があり、活用できたと自己評価する教員は少なかった。 ・高等部1年生でBYODを導入した。一部の生徒はchromebookで課題の提出やテストを行った。 ・今後も個人端末の取り扱いやルールについて整理し、卒業後の生活を豊かにするツールとなるよう、指導を充実していきたい。 ・重度重複の児童生徒に対するICT活用の有効性をもっと広げていきたい。

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
授 業	オ 生涯教育につながる教育活動（文化・スポーツ・芸術）の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の体力の維持向上と生涯スポーツに関する授業実践や情報提供ができたと答える教職員 100% ・表現力や想像力を高めるために、読書や芸術活動（音楽・美術）に取り組める環境を整え、教育活動を推進できたと答える教職員 100% 	97%	B	<ul style="list-style-type: none"> ・知的学級の多くは毎朝、周回走を行っている。毎日継続してきたことで体力が維持向上し、意欲的に運動する姿が増えた。肢体学級では自立活動を中心に姿勢保持や動作の向上することができた。 ・中学部では、パラスポーツ種目を取り入れ、スポーツへの興味を広げることができた。 ・1学期に演劇鑑賞を行い、演劇の迫力や舞台装置など本物に触れることができた。 ・お話の会や読書週間などをおして読書活動が充実した。
	ア 地域社会とつながる教育課程の実現を目指した、コミュニティ・スクールの充実	<ul style="list-style-type: none"> ・地域社会とつながる取組みをとおして、地域と学校の間をつなぐりをもつことができたと答える教職員 100% 	95%		A
連 携	イ 自己実現を図るための自己理解とキャリア教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の実態や年齢に応じたキャリア教育の実践ができたと答える教職員 100% ・児童生徒自身が自己理解を深め、自己選択や自己決定を促す指導の充実が図れたと答える教職員 100% 	93%	B	<ul style="list-style-type: none"> ・各学部でキャリア教育をテーマに学習会を行った。学校の教育活動全体がキャリア教育に結びついていることが共通認識できた。 ・職員施設見学、他学部交流、進路学習会などをおして次年度及び社会生活とのつながりを意識しながら指導に当たることができた。 ・今後も保護者、関係機関との連携を深め、早期から進路指導の充実を目指す。
			97%		

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
連 携	ウ 共生社会の実現に向けた地域・学校・家庭との連携強化	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて地域の関係機関や保護者と連携して課題解決に取り組めたと答える教職員 100% 	97%	B	<ul style="list-style-type: none"> ・学校は保護者と直接話をするを大切にしてきたことにより信頼を得ることができた。外部機関とはコーディネーターを窓口こまめに情報共有し、迅速に対応することができた。 ・高等部では毎週地域作業を行った。地域施設の清掃や草取りなどをおして生活経験を広げるとともに障害者に対する理解を促すきっかけになった。 ・学校間交流は各学年1～2回実施 ・交流籍を活用した交流及び共同学習は小学部15校41人、中学部6校17人実施 ・今後、高等部では同世代との交流教育を広げていきたい。
		<ul style="list-style-type: none"> ・交流教育や地域作業など、地域とつながる学習を積極的に取り入れ、学校と地域のつながりをもつことができたと回答する教職員 100% 	93%		

イ【駿遠分教室】(重点目標はゴシック体で記載)

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
安全・安心	ア 他者との安定した関わりを築き、自分や相手の良さがわかる教育活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつを含めた他者への関わりや、自ら思いを伝えられる児童生徒が増えた、と答える教職員 100% 	100%	A	<ul style="list-style-type: none"> ・係の仕事や児童会、各種委員長それぞれ個々に応じた活躍の場が設定されていた。 ・人権研修や人権チェック定期的に行うことが自身の言動を振り返る機会となった。 ・子どもの手本となるように意識することができた。 ・意識していたが、叱嗟の時にできない場面があった。
		<ul style="list-style-type: none"> ・自らの人権感覚や道徳心を高め、児童生徒の見本となる指導ができたと答える教職員 100% 	96%		
	イ 児童生徒が安心安全に生活できる教育環境の整備と教員の対応力向上	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒が安心安全に学校生活を送ることができるよう日常的に環境整備を行えた答える教職員 100% ・KYTを行うことで、いろいろな場面で危険を予知し対策を講じることができたと答える教職員 100% 	100%	A	<ul style="list-style-type: none"> ・KYTについて、特に行事前は係が意識していつも声出しをしてくれるので、毎回危険予知をして、学習に望めた。 ・ヒヤリハットの共有でいろいろな場面での危機回避ができた。

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
安全・安心	ウ 事故や大規模災害等に備えた危機管理体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・事故やケガ等の緊急時の対応力が向上したと答える教職員 100% ・大規模災害時における自らの役割を理解し、日ごろから実際の動きをシュミレーションしながら勤務できたと答える教職員 100% 	100%	A	<ul style="list-style-type: none"> ・分かっているつもりでも、研修で再度確認することで、すぐ対応できるようになっていくと思うので、研修は大事だと感じた。 ・危機管理マニュアルを開く機会が少ないため、定期的に確認する時間を設けられるとよい。
	エ 働きやすい職場環境づくりと組織的な対応ができる教員集団づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・日常業務や分掌業務を行う上で効果的・効率的な遂行を意識した業務改善に取り組めたと答える教職員 100% ・職場における良好な人間関係づくりを意識して、報・連・相や連携・協力に努めることができたと答える教職員 100% 	82%		C
授業	ア 学習指導要領を踏まえ、児童生徒の思考・判断・表現を引き出すための授業力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の思考・判断・表現を引き出すための授業実践ができたと答える教職員 100% 	96%	A	<ul style="list-style-type: none"> ・生活単元学習の授業づくりで、児童の興味関心と学習指導要領の抑えるポイントの擦り合わせに難しさはあるが、学部会等で話し合うことで、主体性を大切にした授業計画を立てることができた。
	イ 個別の指導計画における適切な目標設定と効果的な指導実践	<ul style="list-style-type: none"> ・実態に応じた適切な個別の指導計画の作成ができ、効果的に目標達成ができたと答える教職員 100% ・分教室の児童生徒の特性を理解して支援につなげることができたと答える教職員 100% 	100%	A	<ul style="list-style-type: none"> ・外部講師から学んだことを、次の単元に生かすことができた。 ・第三者の生徒の見取りで新たな気付きが生まれて、授業に生かすことができた。 ・重度児童生徒の思考・判断・表現を引き出す支援をもう少し知りたかった。

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
授 業	ウ 9年間の成長と自立を見通した各部における教育課程の見直しと改善	・学年段階や個人の実態に応じて自立に向けた指導実践を行い成果が出たと答える教職員 100%	100%	A	<ul style="list-style-type: none"> ・目標の根拠がはっきりしていた。 ・国算研修会は、他のグループの教材を知るよい機会となった。 ・特性を再認識できた。 ・生徒に任せる場面と支援する場を精査したことで、自分たちで主体的に活動する姿が多く見られた。
	エ 個に応じた ICT 活用の推進	・児童生徒が理解を深めたり気持ちを伝えたりすることに ICT を活用できたと答える教職員 100%	100%	A	<ul style="list-style-type: none"> ・研修を通して学んだことが、教材作りや授業での活用に結び付いた。 ・定期的に行ってほしい。 ・教員自身が学んだことで、児童に指導できた。(Imovie)
	オ 生涯教育につながる教育活動（文化・スポーツ・芸術）の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の体力の維持向上と日常的に運動に取り組む姿勢が実感できると答える教職員 100% ・表現力や想像力を高めるために読書や芸術活動(音楽・美術)に取り組める環境を整え、教育活動を推進できたと答える教職員 100% ・「好きな本が増えた」と答える児童生 100% 	100%	A	<ul style="list-style-type: none"> ・各種運動をすることで得られる効果を具体的に伝えるようにした。その結果子どもたちが主体的に準備片付けを行う姿が多く見られた。 ・ドラムサークルに関しては、毎年経験していることもあり、準備や片付けも含めて児童生徒が主体的に学習できた
連 携	ア 地域社会とつながるための教育課程の実現を目指した、地域資源を活用した授業の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の資源や環境を活用した教育活動を通して、つながりを深められたと答える教職員 100% ・地域の方々に向けた作品展や日頃の学習活動を実施して「生徒の理解啓発につながった」と答える教職員 100% 	82%	C	<ul style="list-style-type: none"> ・福用駅清掃に取り組めた。 ・地域の方との学習は、人材を十分生かせる活動にならず申し訳なかった。 ・地域人材をどう発掘、活用するか、地域の人達に、来校してもらうにはどうしたらいいか、今後の課題である。 ・地域交流は、計画を立てても実現するのが難しいと感じた。校外での交流の方が実現可能か。

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
連 携	イ 自己実現を図るためのキャリア教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の実態や年齢に応じたキャリア教育の実践ができたと答える教職員 100% ・児童生徒の自己理解を深め、自己選択や自己決定を促す指導の充実が図れたと答える教職員 100% 	100%	A	<ul style="list-style-type: none"> ・教え込む部分と、寄り添う部分と明確に活動を分けたことで、自分で判断し動けるよう仕掛けた。
	ウ 共生社会の実現に向けた地域・学校・家庭(学園)の連携強化	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて地域の関係機関や保護者と連携して課題解決に取り組めたと答える教職員 100% 	91%	B	<ul style="list-style-type: none"> ・指導連絡会の様式が変更になり、児童生徒の目標の確認ができ良かった。 ・個々のトラブルに早急に対応できない時があった。

(2) 令和7年度の取組目標・達成方法・成果目標

ア 【本校】(重点目標はゴシック体で記載)

	取組目標	達成方法(取組手段)	成果目標	担当部署
授 業	ア 「やりがいと手ごたえのある」授業の実践	<ul style="list-style-type: none"> ・視野を広げる学部研、伝達研修 ・合わせた指導、非認知能力についての研修(あすなる研究協力校) ・研修テーマに基づいた授業検討 ・一人ひとりの授業力向上のためのチーム一授業 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒は、それぞれにやりがいや手ごたえを感じて登校している。 	研修課
	イ 地域と協働する教育課程の再編	<ul style="list-style-type: none"> ・個別のプロセス図の活用 ・適切な個別目標の設定と系統性を押さえた年間指導計画の再編 ・学年主任と連携した自立活動の指導の充実 ・自立活動の指導の本校現状把握と課題整理 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員は、自分の担当単元の設定理由を語ることができている。 ・教職員は、授業準備や分掌業務に十分に組み組んでいる 	教務課 自立活動課
	ウ 教職員の専門性の向上のためのシステム作り	<ul style="list-style-type: none"> ・新日課の運用と業務の3分類を参考にした業務整理 ・経年研修を軸としたよし特OJTの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員は、自分の決めたテーマに沿った研修を進めている。 	(6年度比) 管理職 各分掌課 各学部 事務部
連 携	ア 児童生徒が主体的に取り組むキャリア教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・生活年齢や発達段階に応じた学部ごとのキャリア教育職員研修 ・高等部キャリアパスポートの見直しと活用 ・キャリアCMマップの更新と活用事例収集 ・キャリアパスポート実施校からの情報収集 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒が、自分の学習を振り返って記録する機会がある。 <p>*キャリアパスポートの第一歩</p>	キャリア教育課
	イ 吉田町の特色を生かしたコミュニティースクールの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会で吉田町のICT活用実践を本校に生かすアイデア協議 ・吉田町内小中学校、近隣高等学校の授業研修への参加 ・高等学校との学校間交流の実施 ・共生共育の充実のための各学部の取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会の提案によりICT活用が広がっている。 ・学校間交流、交流籍を活用した共同学習により、互いに成果を確認することができている。 	地域連携課
	ウ 生涯教育につながるスポーツ・芸術・読書活動の拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・パラスポーツなどの実施 ・全校で取り組む体育祭の開催 ・作品展への参加 ・作品交流やスポーツ交流の実施(高等部部活動の目的と活動内容の見直し) ・全校で取り組む学校祭(もえぎ祭り10周年記念回の開催) 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一作品、作品展への応募ができている。 ・一人一スポーツ、一冊以上、好きなものがある。 	体育課 図書表現課

	取組目標	成果目標	達成状況	評価
安 心	ア 学校安全計画の更新 と自他を大切にす 心の育成	<ul style="list-style-type: none"> 各訓練の実施と評価に基づくマニュアルの見直し 性の指導の防犯の視点からの見直し 人権教育、道徳全体計画に基づく指導と評価 人権チェックの実施と研修の実施 安全と成長を促す給食指導研修 外部講師を活用した薬学講座 	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒は自分の命を守るための行動がとれている。 児童生徒は、人を思いやる気持ちを持ち、行動することができている。 	生徒指導課 保健給食課 情報教育課 防災教育課
	イ 事故や大規模災害に 備えた危機管理体制 の強化	<ul style="list-style-type: none"> スクールバス、自主通学指導 発災時訓練、行方不明者、不審者対応訓練での適切で迅速な行動の研修 毎月の各教室、施設の日常及び防災上の安全点検の実施 発災時のイメージが持てる起震車、当事者の話など、体験訓練の工夫 	<ul style="list-style-type: none"> 教職員は、児童生徒の安全に対する想像力を働かせて、日々の業務にあたっている。 	
	ウ 守るために学ぶ教職 員の育成	<ul style="list-style-type: none"> 人権チェック項目の更新と活用 学部学年でのグループワークの実施 不祥事根絶研修改め「CARE-UP(セルフケア&アップデート)研修」の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 教職員は人権感覚を磨き、児童生徒の見本となる行動がとれている。 	管理職 各学部

イ【駿遠分教室】(重点目標はゴシック体で記載) *「業務改善」についても記入する。

	取組目標	達成方法(取組手段)	成果目標	担当部署
授 業	ア 「やりがいと手ご たえのある」授業 の実践	<ul style="list-style-type: none"> 研修テーマにもとづいた授業実践 一人ひとりの授業力向上のためのチーム一授業 視野を広げる伝達研修、学部研修 	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒は、それぞれにやりがいや手ごたえを感じて登校している。 	研修課 各学部
	イ 地域と協働する教 育課程の再編	<ul style="list-style-type: none"> 系統性を抑えた年間指導計画の再編(合わせた指導の評価規準の試行:あすなる研究協力) 自立活動の指導の現状把握と課題整理 	<ul style="list-style-type: none"> 教員は、自分の担当単元の設定理由を明確に語ることができている。 教職員は、授業準備や分掌業務に十分に組み込んでいる(6年度比) 	教務図書課 教科部
	ウ 教職員の専門性の 向上のためのシ ステム作り	<ul style="list-style-type: none"> 業務の3分類(減らす、任せる、創り出す)を参考にした業務整理 OJT(それぞれの専門性を生かしたメンターメンティーシステム)の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 教職員は、自分の決めたテーマに沿った研修を進めている。 	管理職 各分掌課 各学部

	取組目標	達成方法(取組手段)	成果目標	担当部署
連 携	ア 児童生徒が主体的に取り組むキャリア教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> 生活年齢の応じた学部ごとのキャリア教育職員研修 保護者面談や個別支援会議を活用した、情報共有 	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒が、自分の学習を振り返って記録する機会が継続できている。 保護者(学園)とも共有できている。 	各学部
	イ 吉田町の特色を生かしたコミュニティスクールの推進	<ul style="list-style-type: none"> 吉田町のICT活用実践を本校に生かすアイデア協議(学校運営協会)の情報共有 近隣小中学校、高等学校の授業研修への参加 	<ul style="list-style-type: none"> 学校間交流、交流籍を活用した共同学習により、互いに成果を確認することができている。 	各学部 コーディネーター 情報課
	ウ 生涯教育につながるスポーツ・芸術・読書活動の拡充	<ul style="list-style-type: none"> パラスポーツなどの実施 全校で取り組むスポーツフェスティバルの開催 作品展への参加 作品交流やスポーツ交流の実施 本校と一緒に取り組む学校祭(もえぎ祭りの開催) 	<ul style="list-style-type: none"> 一人一作品、作品展への応募(校内も可)ができている。 一人一スポーツ、一冊以上、好きなものがある。 	体育課 教務図書課 教科部
安 心	ア 学校安全計画の更新と自分の身を守る力の育成	<ul style="list-style-type: none"> 人権感覚を磨く各学部の取り組みと各部署の安全計画の更新と活用 性の指導全体計画の防犯の視点からの見直し 情報リテラシー全体計画を模索教職員のためのBYODルールの確立 	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒は自分の命を守るための行動がとれている。 教職員は、児童生徒の安全に対する想像力を働かせて、日々の業務にあたっている。 	生徒指導課 保健給食課 情報課 防災課
	イ 事故や大規模災害に備えた危機管理体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> 都度の危機管理マニュアルの更新と確認 知識、技術の身につく研修と訓練の工夫(当事者からのメッセージを研修題材に) 	<ul style="list-style-type: none"> 教職員は、児童生徒の安全に対する想像力を働かせて、日々の業務にあたっている。 	
	ウ 守るために学ぶ教職員の育成	<ul style="list-style-type: none"> 人権チェック項目の更新と活用学部でのグループワークの実施 不祥事根絶研修改め「CARE-UP(セルフケア&アップデート)研修」の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 教職員は人権感覚を磨き、児童生徒の見本となる行動がとれている。 	管理職 各学部

4 監査対象期間における特色ある取組

【本校】

年度	取組概要	成果及び課題
6年度	【カリキュラム・マネジメント委員会】 ・12年間の成長と自立を見通した各学部学年における教育課程の見直しと改善を行いレベルアップを図る。 ・教育課程の改善、教育の質の向上を目指す。	・各学部の学年主任が学年経営案を持ち寄り、1年間の流れや学年集団としての特性、子どもたちにどんな力をつけたいか、どう次の学年につなげようとしているのか等を話し合うことで、目指す姿を明確にしていくことができた。
	【共生共育委員会】 ・本校の教育理念「つながり合う、学び合う」に基づき、共生社会の実現と地域社会で生きる人の育成を目指し、つながり学習（つながく）を実践する。 ・同世代の交流学习の充実に焦点をあて、双方向に学びのある交流教育の在り方を探る	・つながく（つながり学習）を通して児童生徒と地域とのつながりが開校以来広がってきた。 ・新型コロナウイルス感染症の影響で学校間交流や交流籍を活用した交流などの同世代の友達との関わりが減ったが、6年度は直接交流も増え、一緒に活動しながら充実した学びの機会が多かった。
年度	取組概要	成果及び課題
7年度	【Care-up 研修】 ・「守るために学ぶ」教職員の育成を目指し、不祥事根絶研修改め「CARE-UP 研修」（セルフケア&アップデート研修）として研修を行う。 ・教職員の人権感覚を磨き、児童生徒の見本となる行動がとれるようにする。	・各学部で人権チェックを実施。 ・中堅研の職員が教職員に向けて研修を行う ・学部ごと人権について研修を行い、企画会で他学部の様子を情報共有することができた。 ・交通安全について外部講師を招聘した研修を行ったり、毎週水曜日朝打ちで交通安全について気を付けていることを発表したりしている。
	【共生共育委員会】 ・共生共育の充実のための各学部のつながり学習の実践及び情報共有 ・吉田町内小中学校、近隣高等学校の授業研修への参加 ・高等学校との学校間交流の実施（美術部）	・今までの実践から見えてきている課題は「異なる教育課程の中に交流学习を組み込む難しさ」と「オーバーカリキュラムが叫ばれる中での教師の負担感」の2点である。その状況を打開するために「お互いを知り合う」「気軽な交流」「交流活動への参加が評価される」の3つの取組目標を掲げてつながり学習（つながく）に取り組む。

【駿遠分教室】

年度	取組概要	成果及び課題
6年度	・駿遠学園に入所している児童生徒がほとんどであるため、学園職員や関係機関等と連携した関わりが必要となってくる。	・関係機関と連携していることで、関わる児童生徒の現状の把握や今後に向けての課題共有ができ、指導に生かされている。
	・駿遠学園が主体となり、関係機関を招聘し、学校職員も参加した関係機関支援会議を年間2回実施している。また、児童生徒を担当する学園職員とも年間3回程度、生活の様子や課題等を共有する機会を設定している。	・進学や進級のタイミングを待たず、措置変更等で児童生徒の転入出が発生するため、日々情報共有を丁寧なすることと、共有できた内容について必ず記録するよう努めている。

年度	取組概要	成果及び課題
7年度	【Care-up 研修】 ・「守るために学ぶ」教職員の育成を目指し、不祥事根絶研修改め「CARE-UP 研修」(セルフケア&アップデート研修)として研修を行う。 ・教職員の人権感覚を磨き、児童生徒の見本となる行動がとれるようにする。	・生徒指導課発信で、人権チェックを実施。 ・毎月1回、学部会の中で、人権についてテーマを設定し、研修を行っている。また、その話し合われた内容や分教室として課題となりそうな事案について、職員会議で共有している。 ・本校の研修内容を共有させてもらい、その都度個々の不祥事根絶に向けた意識が高められるようにしている。
	【駿遠学園との連携】 ・駿遠学園が主体となり、関係機関を招聘し、学校職員も参加した関係者会議を年2回実施。 ・担任と児童担当職員と、生活の様子や課題等を共有する機会を年3回実施。	・中学部卒業の進路先の決定に向けては、関係機関と何度も話し合いが必要になってくる。本人、保護者で、見学や体験等を経て、更に関係者間での情報共有が重要である。引き続き、学園との連携を密にして対応していく。

5 教職員について

(1) 令和7年度異動状況

(単位：人)

区分	校長	副校長	教頭	教諭	養護教諭	栄養教諭	事務長	主査	主任	小計	教諭(任)	教諭(臨)	養護教諭(臨)	主事(臨)	会計年度任用職員								小計	合計
															非常勤養護教諭	非常勤講師	医療的ケア看護職員	実支援指導員	実支援員	非常勤労務職員	非常勤嘱託員			
本校	転出者			13						13	1	1										2	15	
	退職者			5						5	4	2		2		1	3	1	1	7	2	23	28	
	再任用(退職)			4						4												0	4	
	転入者			15					1	16		1										1	17	
	新任者			4						4	2	5		1		2	3	2	3	7	2	27	31	
	再任用(フル)			2						2												0	2	
	再任用(ハーフ)									0												0	0	
	差引増減	0	0	0	△1	0	0	0	0	1	0	△2	3	△1	△1	0	1	0	1	2	0	0	3	3
分教室	転出者			2						2												0	2	
	退職者									0	1				1					1	1	4	4	
	転入者			2						2												0	2	
	新任者									0					1					1	1	3	3	
	差引増減	0	0	0	0	0	0	0	0	0	△1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	△1	△1	
増減合計	0	0	0	△1	0	0	0	0	1	0	△3	3	△1	△1	0	1	0	1	2	0	0	2	2	

(2) 現員数

(令和7年8月31日現在)

(単位：人)

区分	校長	副校長	教頭	教諭	養護教諭	栄養教諭	事務長	主査	主任	教諭(任)	教諭(臨)	非常勤講師	非常勤養護教諭	医療的ケア看護職員	実習支援指導員	実習支援員	非常勤労務職員	非常勤嘱託員	合計	
本校	男			1	28				1	2	3	1				1	3	1	41	
	女	1	1		54	2	1	1	2	1	3	5		3	2	1	4		81	
	計	1	1	1	82	2	1	1	2	2	5	8	1	0	3	2	2	7	1	122
分教室	男				5													1	6	
	女			1	4						1		1						1	8
	計	0	0	1	9	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	1	14
合計	1	1	2	91	2	1	1	2	2	5	9	1	1	3	2	2	8	2	136	

(3) 健康管理について

ア 健康管理の推進

- (ア) 健康診断の全員受診を推進し、疾病の早期発見に努める。
- (イ) 精密検査や治療等の事後措置を徹底させ、各自の健康管理を促している。
- (ウ) 職員安全衛生委員会を毎月開催し、2月には健康管理医の指導・助言を仰ぐ。
- (エ) 毎朝始業時に「腰痛予防ストレッチ体操」を行い、腰痛予防の推進に努めている。

イ 健康診断の実施項目（令和6年度実績） 本務者及び臨時的任用職員

項目	対象者	対象者数
結核検診 生活習慣病健診	全職員(指定年齢検診、人間ドック受診者及び特別休暇中の者は除く)	(本校・分教室) 71
指定年齢健診	40、45、50、55、59歳	(本校・分教室) 10
人間ドック	35、38、41、42、43、44、47、48、49、51、52、53、54、56、57、58歳の希望者	(本校・分教室) 39
婦人科検診	20歳以上の偶数年齢者(指定年齢健診、人間ドック受診者は除く)	(本校・分教室) 22

(4) 教職員の研修について

【本校】

研修名	研修内容	成果及び課題
授業づくり	<p>授業研究</p> <p>◆6年度◆</p> <p>[研修目的] 目指す児童生徒の姿に迫るために、単元づくりを充実させ、児童生徒の気付きや思考・判断・表現する力を求めながら実践を行う。振り返りをもとに学習評価、授業改善に生かす。</p> <p>[研修内容] 研修テーマ 「児童生徒の『やりたい』『できた』『わかった』の姿を目指した授業づくり」</p> <p>1 児童生徒の気持ちや思考を軸にした単元カードや各学部のシートを使った単元づくりの充実</p> <p>2 学部やグループごと、助言者を招聘した研究授業の実施</p> <p>◆7年度◆</p> <p>[研修目的] 児童生徒のやりがいや手ごたえを感じる姿を見取り、見取りに基づく授業改善を行うことで、児童生徒が主体的に学んでいる。</p> <p>[研修内容] 研修テーマ 仲間とともに、やりがいや手ごたえを感じる授業づくり</p> <p>1 共通した様式を活用した、児童生徒がやりがいや手ごたえを感じる姿の模索</p> <p>2 学部・グループ別のテーマ研修と、助言者を招聘した研究授業の実施</p>	<p><成果></p> <p>・1学期は、すべての学部が助言者を招聘して、事後研修会を行い、助言者から各学部の研修や授業づくりに対する指導助言を受けた。グループ協議では児童生徒の思考判断表現する場面を中心に見取り、授業改善に活かすことができた。</p> <p><進捗></p> <p>・各学部で児童生徒の気持ちや思考を軸にした単元カードを活用し、単元づくりの充実を目指した授業検討を行っている。</p> <p><成果></p> <p>1学期の6月7月には、研修グループ毎に助言者を招聘した授業研究を行い、中心授業や研修に対する指導助言をいただいた。また、研修グループ毎に着目する視点を定め、「やりがいや手ごたえ」を感じる児童生徒のあらわれを見取り、授業改善に活かしている。</p> <p><進捗></p> <p>前期の授業研究では児童生徒のあらわれを見取り、「やりがいや手ごたえ」を感じる姿を共有することができた。前期の見取りを活かし、後期や来年度に向けて、「やりがいや手ごたえ」を感じる姿を想定して見取り、授業改善に活かすサイクルで授業づくりをしていきたい。</p>

研修名	研修内容	成果及び課題
学校安全研修	<p>防災研修</p> <p>◆ 6 年度 ◆</p> <p>【研修目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な災害について被害想定と状況、発災時の対応の原則、本校における防災体制・組織的対応について理解し、教職員一人一人が様々な状況における発災時対応について確認する。 <p>【研修内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 南海トラフ地震における被害想定、それに対応する本校の防災・減災・備蓄対策について危機管理マニュアルを基に確認する。 教職員の参集について、教職員の居住地の現状から防災応急対策要員動員計画を基に、特別参集要員を設け、発災時対応を確認する。 最新の市町洪水ハザードマップを提示して、風水害に対する備えの必要性の防災対策の基本、情報収集の方法を学び、本校の風水害対策について確認する。 校内で発災し、児童生徒の引渡しが必要となった場合の引渡し方法を実施する。 <p>◆ 7 年度 ◆</p> <p>【研修目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な災害について被害想定と状況、発災時の対応の原則、本校における防災体制・組織的対応について理解し、教職員一人一人が様々な状況における発災時対応について確認する。 <p>【研修内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○災害時の基本行動訓練 <ul style="list-style-type: none"> ・地震ときの身の守り方（机の下に隠れる、頭を守る） ・火災のときの身の守り方（姿勢を低く、口を押さえての避難） ○避難経路の確認 <ul style="list-style-type: none"> ・校舎内の避難ルートを歩いて体験 ○防災学習 <ul style="list-style-type: none"> ・初期消火体験 ・煙体験 ○避難所生活の体験 <ul style="list-style-type: none"> ・簡易トイレ、段ボールベッド等の設営体験 ・非常食体験 ○危機管理体制の確認 <ul style="list-style-type: none"> ・災害発生時の役割分担（担任、避難誘導、情報伝達など） 	<p>< 成果 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新入生、転入生の保護者に向けて名刺サイズの引渡しカード、卒業まで使用できるものを配布した。 ・ 児童生徒災害時用カードを保護者より提出。（見直しは行うが、卒業まで使用） ・ 生徒指導課と防災教育課が連携し、SBに実際に乗り込み、安全な経路や避難場所、広域トランシーバーの通信状況等を確認。 ・ 年度初めの早い時期に引渡し訓練、地震・津波避難訓練、火災避難訓練、171の体験、風水害避難訓練を行うことができた。 ・ 各種防災訓練では、各自マニュアルで事前に動きを確認するよう促しを行った。 ・ 児童生徒には、避難訓練の事前事後指導を行った。 ・ 登校時避難訓練を行い、スクールバス介助員や教職員が DIG 訓練を実施した。 ・ 各種防災訓練の実施計画を掲示板に掲げるときに、訓練に関わる内容の防災クイズを掲載した。 <p>< 課題 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教職員の異動があり、毎年 4，5 月は業務が多くなってしまうが、確実に危機管理マニュアル及び教職員の役割分担の確認だけは確実に行っていきたい。 ・ 発災したときに、各分掌課で割り当てている役割があるが、学級の安全管理（把握）を理由にその役割が果たせないという状況が多々ある。学級だけで安全管理（把握）をするのではなく、学部全体で児童生徒の安全管理（把握）をするように伝えていく。 <p>< 進捗 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒指導課と防災教育課が連携し、SBに実際に乗り込み、安全な経路や避難場所、広域トランシーバーの通信状況等を確認した。 ・ 年度初めの早い時期に引渡し訓練、地震・津波避難訓練、火災避難訓練、171の体験、風水害避難訓練を行った。 ・ 各種防災訓練では、各自マニュアルで事前に動きを確認するよう促しを行っている。 ・ 児童生徒には、避難訓練の事前事後指導を行った。 ・ 管理職、参集要員を中心とした連絡体制の構築並びに地震等の災害が起こった場合の動きを確認・共有した。

	研修名	研修内容	成果及び課題
学校安全研修	人権研修	<p>◆ 6 年度 ◆ 【研修目的】 ・ 人権教育に関する知識を深め、指導実践に生かす。 【研修内容】 ・ 静岡県人権教育担当研修会の内容を参考に、夏期休業日に実施する全職員対象の校内人権研修会にて、静岡県人権教育の手引きの内容確認や、研修ページを使用して自己チェックやグループ協議を行った。</p> <p>◆ 7 年度 ◆ 【研修目的】 ・ 人権教育に関する知識を深め、指導実践に生かす。 【研修内容】 ・ 静岡県人権教育担当研修会の内容を、夏季休業日に実施する全職員対象の校内人権研修会にて、動画視聴やワークを交えながら伝達した。 ・ 静岡県教育委員会、人権教育のページにある「教師の一言」に取り組んだ。</p>	<p>< 成果 > ・ 手引きの内容確認では、今年度指導の重点として組み込まれた「多様性を尊重すること」という項目について意識をして指導を行うように啓発を行うことができた。また、人権感覚を磨く研修では、個人での振り返り、グループでの共有を行い、互いの人権感覚について意識を向けることができた。</p> <p>< 課題 > ・ 「多様性」という言葉を教員自身も意識して様々な価値観を認め合えるよう、人権感覚を磨いていける教員集団を目指したい。</p> <p>< 進捗 > ・ 人権自己チェックを各学部実施し、評価の低い項目について研修を行っている。 ・ 人権合言葉は高等部生徒会が決め、掲示を行い周知している。 ・ 人権研修については 7 月 23 日に実施した。</p> <p>< 成果 > ・ 動画視聴やワークを通じて、人権尊重の精神にたった学校づくりや隠れたカリキュラムについて学ぶことができた。 ・ 「合理的配慮」「特別支援教育」についてのミニワークを行い、それぞれの重要性について学ぶことができた。 ・ 「教師の一言」のワークを通じて、2 学期以降の指導方法について考えることができた。</p> <p>< 課題 > ・ 様々な視点から児童生徒の人権を守れるよう日々人権感覚を磨いていくようにする。 ・ 「多様性」については、今後も理解を深めていけるようにしていきたい。</p> <p>< 進捗 > ・ 人権自己チェックを各学部実施し、評価の低い項目について研修を行ったり、今後の指導方法について話し合ったりしている。 ・ 人権月目標について、高等部生徒会がポスターを作ったり、放送で呼びかけたりしている。 ・ 人権研修については 8 月 29 日に実施した。</p>

	研修名	研修内容	成果及び課題
選択研修	進路見学	<p>◆ 6 年度 ◆</p> <p>【研修目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本校生徒が職場実習や卒業後に利用している福祉事業所の実状を知り、12 年間の繋がりを意識した進路指導（キャリア教育）に生かす。 <p>【研修内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 福祉事業所に訪問し、概要説明を聞いたり、施設や利用者の様子を見学させていただいたりする。 <p>◆ 7 年度 ◆</p> <p>【研修目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本校生徒が職場実習や卒業後に利用している福祉事業所の実状を知り、12 年間の繋がりを意識した進路指導（キャリア教育）に生かす。 <p>【研修内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 福祉事業所に訪問し、概要説明を聞いたり、施設や利用者の様子を見学させていただいたりする。 	<p>< 成果 ></p> <ul style="list-style-type: none"> 8 月 8 日に職員施設見学を実施。 見学施設：福祉事業所 11 か所 参加者：キャリア教育課員、初任者、希望者 <p>< 課題 ></p> <ul style="list-style-type: none"> 今年度は午後の時間で見学に行ったため、事業所の活動時間が限られていて見学時間が短くなってしまった。次年度は午前中の時間で計画したい。また、今年度と見学先を変更して 3 年程度で学区内の事業所全てを見学できるようにしていきたい。 <p>< 成果 ></p> <ul style="list-style-type: none"> 8 月 8 日に職員施設見学を実施。 見学施設：福祉事業所 23 か所 参加者：キャリア教育課員、初任者、希望者 <p>< 課題 ></p> <ul style="list-style-type: none"> 6 年度の課題を受け、日程を終日に変更するとともに、地区や障害種を考慮した計画を立案し、実施した。概ね満足できる内容であったが、希望者多数につき校内での受付を早期に終了したため、次年度はより多くの職員を受け入れることができるようにしたい。

【駿遠分教室】

研修名	研修内容	成果及び課題
授業づくり	<p>◆ 6年度◆</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「やる気を引き出し、行動につなげる」について共通理解をして授業づくりに取り組む。 <p>【研修内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修テーマ 「目標に向かって力を発揮し、一人一人が輝く姿」を目指して <ol style="list-style-type: none"> 1 授業公開・授業研究の実施（各学部1回、計2回実施） 2 職員研修 <ul style="list-style-type: none"> ・講師の先生をお招きしての校内授業研究会の実施 3 情報に関する研修会への参加 <p>◆ 7年度◆</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育目標の「なかよく」の部分に焦点を置き研修を進めていく。 <p>【研修内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修テーマ 「目標に向かって力を発揮し、一人一人が輝く姿」をメインテーマにし、サブテーマを～なかよく学び合う姿を目指す授業～ <ol style="list-style-type: none"> 1 授業公開・授業研究の実施（各学部1回、計2回実施） 2 職員研修 <ul style="list-style-type: none"> 講師の先生をお招きしての校内授業研究会の実施 3 OJT 研修の充実 	<p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自立活動の視点をもつことで、職員間で児童生徒の実態把握を共有する際に、ポイントを絞って話し合いができた。 ・予想されるつまづきを考えたことで、手立てや環境設定、発問の仕方などに意識が向けられ、効率よく授業を行えた。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「やる気を引き出す支援」と「行動につなげる支援」とを分けて考えることが難しかった。 ・授業が始まってから、新たに見えてくる課題が出てきたため、実態やあらわれにずれがあった。 ・実行機能のポイントと授業改善チェックリスト15を意識するあまり、盛り込みすぎてしまったことで目標がぼやけてしまった部分があった。 <p><進捗></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「なかよく」とは具体的に友達と協力する、支え合うというような直接、人とかかわることに限らず、道具の使い方が分かる、行事向かう、地域に興味をもつ、知るなど、<人・もの・こと>とかかわりながら取り組む姿も「なかよく」として捉えていきたい。<人・もの・こと>とのかかわりの中で児童生徒の思考力、判断力、表現力を伸ばすことを目的とし、「かかわりを通して、学び合う姿」に焦点をあて、研修を進めていく。
学校安全研修	<p>◆ 6年度◆</p> <p>【研修目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権教育についての知識・理解を深め、人権・道徳教育の推進を目指す。 <p>【研修内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的な人権チェック ・人権教育担当者研修会の伝達講習 ・児童生徒への指導方法の共有 <p>◆ 7年度◆</p> <p>【研修目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分と相手の人権を大切にする態度や行動力の育成を目指す。 <p>【研修内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権、いじめ防止対策研修会（年2回） ・人権意識を高める教員人権チェック（月1回）と学部ごと項目を意識した指導の実践 	<p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的な人権チェックに加え、夏季の人権研修において、個々の人権意識を改めて振り返ることができた。全校集会の場で生活目標について児童生徒と一緒に考える機会を作ることによって、人権を意識した生活につながった。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の現状を把握するために、引き続き学園や関係機関（児童相談所等）との連携を深めていく必要がある。 <p><進捗></p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒に、困りごとアンケート（年2回）を実施し、結果と対応の共有を行っている。必要に応じた個別対応・相談を実施することで、安心した学校生活に繋がっている。

	研修名	研修内容	成果及び課題
学校安全研修	防災研修	<p>◆ 6年度◆ 【研修目的】 ・多様な災害の場面を想定した訓練を通して、各担当の業務、業務内容の理解や防災に関する情報共有し、マニュアルの改善、見直しと防災備品の管理に努める。</p> <p>【研修内容】 ・定期的な避難訓練の実施、反省とマニュアルの見直し。 ・防災設備、備品の使い方について。</p> <p>◆ 7年度◆ 【研修目的】 ・地震や火災の避難訓練(安全な経路・避難の仕方、約束の確認)。 ・危機管理マニュアルを基に、各担当の業務、業務内容の理解や防災に関する情報共有を行い、マニュアルの見直しを図る。</p> <p>【研修内容】 ・安全な避難の仕方(約束「あおいも」の徹底) ・備品・備蓄品の管理場所、個数の確認。</p>	<p><成果> ・多様な災害の場面を想定した訓練を実施し、課題解決に取り組めた。 ・訓練実施後のアンケートをもとに、マニュアルの見直し、改善に繋がられた。</p> <p><課題> ・引き続き、併設施設との密な連携。 ・教職員への災害時の備え(防災グッズ、非常食等)の周知徹底。</p> <p><進捗> ・訓練がマンネリ化しているため、今後訓練を行う時間帯や被害状況、避難経路の確認、検討し、実施していく。 ・定期的な備蓄品の点検や使用方法、保管場所等の共有を行う。</p>
学校安全研修	救命救急法伝達講習	<p>◆ 6、7年度◆ 【研修目的】 ・児童生徒の命を守るために、教職員が救急救命法を体得する。</p> <p>【研修内容】 ・心肺蘇生法 ・AEDの使用法 ・緊急時搬送の対応と確認 ・喉に詰まらせたときの対処</p>	<p><成果> ・心肺蘇生法の手順やAEDの使い方、水泳の授業時に溺れた生徒への対応、役割や連携の確認することができた。 ・緊急時の学部での対応や役割の確認、記録表の書き方について意見を出し合えた。</p> <p><課題> ・状況によって、対応する教員や業務が異なる場面もあるため、研修を重ね、対応力を向上させたい。</p> <p><進捗> ・教職員全員で救急救命法の学習会を受け、その後水泳指導を行った。小中学部が協力し合い、連携や言葉掛けを行った。 ・緊急時の役割や連携について話し合い、迅速な対応をとれる準備ができている。</p>
専門性向上研修	職員研修	<p>◆ 7年度◆ 【研修目的】 ・教職員の専門性向上のためのシステム作り。</p> <p>【研修内容】 ・それぞれの専門性を生かした、研修会の開催(進路指導について、水泳授業づくりについて等)</p>	<p><成果> ・職員会議終了後の時間設定で、実施している。短時間ではあるが、充実した研修内容になっていて、気軽に質問ができたり情報の共有が出来たりしている。</p> <p><進捗> ・職員の業務負担にならないよう実施している。</p>

6 防災対策について

【本校】

学校経営の重点課題の一つとして、防災対策委員会を組織し、防災教育課を核として、安全・授業・連携の各課と連携して防災対策に取り組んでいる。危機管理マニュアルについては更新される関係諸機関の情報や変更した引渡し訓練、本校の洪水想定や教職員の参集基準の変更に伴うマニュアル改定を随時行っている。

防災訓練については、年度の早い段階に通りの訓練が終了するよう計画をしたり、煙体験や初期消火訓練、起震車などの活動を計画し実践したりしている。特に、医療的ケア児童生徒の発災時手順や避難方法についても随時保護者と連携して訓練を行っている。

減災対策・備蓄については数を把握し必要な物を計画的に増量したり、各教室や廊下の電灯を飛散防止用に変更したりするなどの対策を行っている。

- (1) 非常用食料の入れ替え、防災薬の保管、防災備品の整備、教室や廊下の飛散防止対策。
- (2) 防災研修・・・防災マニュアルの説明、教職員シミュレーション訓練、スクールバスDIG訓練、参集先や本校までの安全な経路の確認、南海トラフ地震について等
- (3) 吉田町、牧之原市及び片岡区、片岡東区との連携
 ・・・・防災教育推進連絡会議（年間1回）
- (4) 様々な想定を図上訓練や避難訓練、防災学習を通して児童生徒及び教員の危機対応力を高める。
- (5) 地域の防災訓練への児童生徒の参加を促す。

<地震・防災訓練実施状況>

年度	月 日	内 容	備 考
令和6年度	4月5日	拡大防災対策委員会	本部要員や分掌防災メンバーが集まり防災研修や役割等の確認
		危機管理マニュアル安全研修	有事の際に児童生徒の安全が確保できるように教職員の役割や動きの確認
		教職員シミュレーション訓練	地震・津波の発災時の避難誘導・避難場所・教職員の役割について確認
		各SB路線避難経路訓練（生徒指導課・防災課・介助員合同）	御前崎線・吉田大井川線・金谷線の3路線を実際に移動しながら避難場所や安全な経路を確認
	4月17日	引渡し訓練（新1年生）	発災時を想定した保護者への引渡し実施
	4月30日	避難訓練【火災】	初期消火訓練、避難経路の確認、消防署との連携（通報訓練）、水消火器訓練、煙体験
	5月15日	高等部防災学習・自習通学者171訓練	171伝言ダイヤルの体験を行う
	5月30日	避難訓練【地震・津波】	上階避難を実施
	6月17日	避難訓練【風水害】	津波と同様、上階避難を実施
	7月1日	下校時SB避難訓練	児童生徒、教職員、介助員、運転手、保護者が情報を共有して避難訓練を行う
		災害用伝言ダイヤル171高等部自主通学者連絡訓練	地震発生時の危険回避と安全行動など、通学途中に発災した場合の対応について確認
	7月11日	地域防災連絡会議	情報の共有や災害時の役割について確認
	8月28日	地域防災訓練（呼びかけ）	防災教育課からCOCOO配信を行い、参加を呼び掛ける。参加状況をアンケートで確認
	9月下旬～10月初旬	避難訓練（予告なし）【地震・津波】	地震時の避難行動・避難経路・教職員の役割の確認
11月20日	Jアラート避難訓練	吉田町と合同の訓練	
11月下旬	地域防災訓練（呼びかけ）	防災教育課からCOCOO配信を行い、参加を呼び掛ける。参加状況をアンケートで確認	

年度	月 日	内 容	備 考
令和6年度	12月4日	避難訓練・防災学習の日【地震・津波】	避難所生活体験（寝袋体験、非常食体験等）、防災講話等
	1月17日	防災の日	阪神淡路大震災があった日の事を伝える機会とする
	1月上旬～2月上旬	避難訓練(予告なし)【地震・津波】	地震時の避難場所、避難経路の確認
	3月11日	津波防災訓練（呼びかけ）	防災教育課からCOC00配信を行い、参加を呼び掛ける
	3月19日	防災薬の返却	防災薬を預かった家庭へ防災薬を返却する
令和7年度	4月4日	拡大防災対策委員会	本部要員や分掌防災メンバーが集まり防災研修や役割等の確認
		教職員シミュレーション訓練避難訓練【地震・津波】	上階避難を実施
		危機管理マニュアル研修	危機管理マニュアルについて基本及び重要情報の掲載ページを確認
		各SB路線避難経路訓練（生徒指導課・防災課合同）	御前崎線・吉田大井川線・金谷線の3路線を実際に移動しながら避難場所や安全な経路を確認
	4月8日 始業式	防災薬預かり	必要な家庭については、各家庭から防災薬を預かる（任意）
	4月16日	避難訓練【地震・津波】	上階避難を実施
		引渡し訓練（新1年・転入生）	発災時を想定した保護者への引渡し実施
	5月1日	避難訓練【火災】	初期消火訓練、避難経路の確認、消防署との連携（通報訓練）、水消火器訓練、煙体験
	5月15日	災害伝言ダイヤル171体験	保護者・生徒・教職員・訪デイが連携をし、171伝言ダイヤルの体験を行う
	5月19日	登校時凶上訓練【地震・津波】	学年会にて各学級学年の登校時発災についてDIG訓練を実施
	6月16日	避難訓練【風水害】	津波と同様、上階避難を実施
	7月1日	災害伝言ダイヤル171高等部自主通学者連絡訓練	自主通学者対象；地震発生時の危険回避と安全行動など、通学途中に発災した場合の対応について確認
		地域防災訓練（呼びかけ）	防災教育課からCOC00配信を行い、参加を呼び掛ける。参加状況をアンケートで確認
	7月7日	下校時スクールバス連絡訓練	児童生徒、教職員、介助員、運転手、保護者が情報を共有して避難訓練を行う
	7月16日	吉田町・牧之原市・片岡区との防災連絡会議	各々の情報共有や災害時の役割について確認 防災に関わる校舎内の見学
	9月下旬～10月上旬	予告なし避難訓練【地震・津波】	地震時の避難場所、避難経路の確認
	11月14日	Jアラート訓練	吉田町と合同の訓練
	11月下旬	地域防災訓練（呼びかけ）	防災教育課からCOC00配信を行い、参加を呼び掛ける。参加状況をアンケートで確認
12月17日	避難訓練【地震・津波】 防災学習の日	避難所生活体験（寝袋体験、非常食体験等）、防災講話、起震車体験等	
1月17日	防災の日	阪神淡路大震災があった日の事を伝える機会とする	
3月11日	津波防災訓練(参加呼びかけ)	防災教育課からCOC00配信を行い、参加を呼び掛ける	
3月19日 (18日)	防災薬の返却	防災薬を預かった家庭へ防災薬を返却する	

【駿遠分教室】

児童生徒の生命を守ることを第一とし、人的・物的被害を最小限に止めるため、併設施設との協力・連携を図る。令和6年度は、『危機管理マニュアル・防災計画』をもとに、職員全員、また併設施設との合同で、避難訓練や引き渡し訓練を行う。訓練後のアンケートを生かすことで改善点や課題の発見、危機管理マニュアル見直し、改善につなげ、緊急時に対応できる危機管理体制の整備を行う。

- (1) 環境整備…通路の整備、非常食料・防災備品の確認と保管場所の見直し、点検
- (2) 防災訓練…併設施設と連携し、互いに連絡の取り方や避難経路について、児童生徒の安全を守る連携体制などを確認してから訓練を実施する。9月には合同防災訓練（引渡し訓練）を行う。
- (3) 防災研修…防災計画（マニュアル）の説明・共通理解、職員防災研修の実施
- (4) 地域連携…北五和地区の自主防災組織と防災会議を実施し、発災時の対応について確認

<地震・防災訓練実施状況>

年度	月 日	内 容	備 考
令和6年度	5月15日	災害用伝言ダイヤル利用訓練 (保護者、職員)	171災害用伝言ダイヤルの再生手順確認
	4月24日	第1回防災訓練【地震】	地震発生時の身の守り方、避難経路
	6月13日	第2回防災訓練【火災】	火災発生時の避難の仕方、避難経路
	9月3日	第3回防災訓練 (保護者との連携)	南海トラフ地震臨時情報（警戒）発令を想定。 児童生徒と防災食の試食や引渡し訓練
	11月19日	防災学習	起震車体験（防災課長）
	12月3～6日 (非通知)	第4回防災訓練【地震】	予告なし 地震発生時の身の守り方、避難経路
	11月19日	防災学習	起震車体験（島田消防署）
	1月20～24日 (非通知)	第5回防災訓練【校外】	予告なし 地震発生時の身の守り方、避難経路
令和7年度	4月22日	第1回防災訓練【地震】	地震発生時の身の守り方、避難経路171災害用
	5月15日	災害用伝言ダイヤル利用訓練 (保護者、職員)	伝言ダイヤルの再生手順確認
	6月16日	第2回防災訓練【火災】	火災発生時の避難の仕方、避難経路
	9月2日	第3回防災訓練 (保護者との連携)	南海トラフ地震臨時情報（警戒）発令を想定。 児童生徒と防災食の試食や引渡し訓練
	11月中旬	防災学習	災害時の避難の仕方、煙体験 (静岡県地域局職員による防災講座、体験)
	12月2～12日 (非通知)	第4回防災訓練【地震】	予告なし 地震発生時の身の守り方、避難経路 地震発生時の避難（0次、1次避難）を実施
	1月13～23日 (非通知)	第5回防災訓練【校外】	予告なし 校外活動中での地震発生時の身の守り方、避難 経路、避難（0～2次避難）を実施
	未定	Jアラート	朝の会等で簡単な防災学習を行う（学部ごと） Jアラートの音や発信される情報などを確認
	未定	垂直訓練	水害、土砂災害を想定した垂直避難訓練の実施

7 学校開放について

地域に開かれた学校を目指し学校施設開放委員会を設置し、社会教育活動、文化活動、スポーツ活動の生涯学習活動振興のため施設等を開放している。

【本校】

(令和6年度)

施設名	利用日数 (延べ日数)	利用人数 (延べ人数)	利用目的	利用者 負担金
運動場	194日	10,325人	サッカー、陸上	202,418円
体育館	236日	4,631人	サッカー、バドミントン、バスケットボール、体操	76,029円

(令和7年度)

(令和7年8月31日現在)

施設名	利用日数 (延べ日数)	利用人数 (延べ人数)	利用目的	利用者 負担金
運動場	78日	3,806人	サッカー、陸上	70,591円
体育館	123日	2,396人	バスケットボール、バドミントン、バウンディングテニス	34,937円

【駿遠分教室】 開放なし

事務執行の根拠法令調

項 目	根 拠 法 令
1 学校教育に関する こと	<p>教育基本法（第1条、第2条）</p> <p>学校教育法（第1条、第2条、第3条、第72条、第73条、第74条、 第75条、第76条、第77条、第82条）</p> <p>学校教育法施行規則</p> <p>学校保健安全法（第5条、第6条、第13条、第14条）</p> <p>学校給食法（第5条）</p> <p>特別支援学校の幼稚部及び高等部における学校給食に関する法律（第3条）</p> <p>静岡県立学校設置条例</p> <p>静岡県立特別支援学校分教室設置要綱</p> <p>静岡県立特別支援学校学則</p> <p>静岡県就学支援委員会規則</p> <p>特別支援学校小学部・中学部学習指導要領</p> <p>特別支援学校高等部学習指導要領</p>
2 学校の管理・運営に 関すること	<p>学校教育法（第137条）</p> <p>地方教育行政の組織及び運営に関する法律（第33条）</p> <p>教育公務員特例法（第21条、第22条）</p> <p>学校保健安全法（第6条、第7条、第15条、第27条）</p> <p>学校図書館法（第3条、第4条）</p> <p>静岡県立学校管理規則</p> <p>静岡県教育委員会処務規程</p> <p>静岡県立学校の施設等の開放に関する要綱</p> <p>静岡県教育委員会職員安全衛生管理規程</p> <p>特別支援学校への就学奨励に関する法律（第2条、第3条）</p> <p>特別支援学校への就学奨励に関する法律施行令</p> <p>特別支援学校への就学奨励に関する法律施行規則</p> <p>特別支援教育就学奨励費負担金等及び要保護児童生徒援助費補助金交付要綱</p> <p>要保護児童生徒援助費補助金及び特別支援教育就学奨励費補助金交付要綱</p>

□□□□□□

学 校 施 設 の 概 要

1 面積及び所有区分

(1)本校

(令和7年8月31日現在)

区 分	面 積 m ²	所 有 内 訳					摘 要
		県 有 m ²	国 有 m ²	市町村有 m ²	後援会有 m ²	民 有 m ²	
学 校 敷 地	31,274.44	18,499.00		12,775.44			吉田町
内 訳	校 舎 敷 地	10,239.00	10,239.00				
	運 動 場 敷 地	21,035.44	8,260.00	12,775.44			
	そ の 他 の 敷 地						
校 舎	建	1,995.22					
	延	7,692.40	1,995.22				
体 育 館	建	1,312.45					
	延	2,493.60	1,312.45				
そ の 他 の 建 物	建	997.05					
	延	1,700.59	997.05				
プ ー ル	280.00	280.00					大プール 9.2×25m 4コース 小プール 5×10m

(2)駿遠分教室

(令和7年8月31日現在)

区 分	面 積 m ²	所 有 内 訳					摘 要
		県 有 m ²	国 有 m ²	市町村有 m ²	後援会有 m ²	民 有 m ²	
学 校 敷 地	114.16			114.16			駿遠学園管理組合
内 訳	校 舎 敷 地	114.16		114.16			
校 舎	建	355.54					
	延	467.54	112.00		243.54		
体 育 館	建	454.95					
	延	480.14			454.95		
そ の 他 の 建 物	建	2.2738					
	延	2.2738			2.2738		光ケーブル敷 設のため

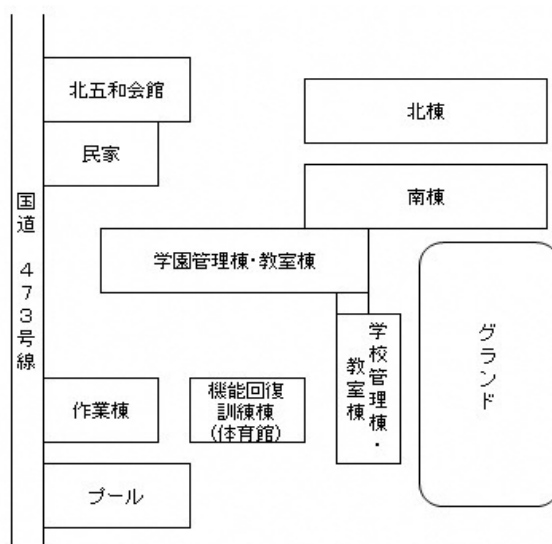
2 配置・規模等

校舎の配置図

(1) 本校



(2) 駿遠分教室



(3) 学校施設の規模等(法面・演習林等を除く)

区分	学校敷地面積	校舎延面積	運動場面積
本校	31,274.44 m ²	7,692.40 m ²	21,035.44 m ²
駿遠分教室	(114.16) m ²	(467.54) m ²	m ²
県平均	19,266.88 m ²	6,361.36 m ²	5,302.07 m ²

□□□□□□

在籍生徒調

(令和7年8月31日現在)

学年	学部区分	小学部									中学部								
		本校			訪問教育			分教室			本校			訪問教育			分教室		
		男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計
1年	入学者	10	4	14	0	0	0	0	0	0	10	3	13	0	0	0	3	0	3
	増加			0			0			0			0			0			0
	減少			0			0			0			0			0			0
	現在	10	4	14	0	0	0	0	0	0	10	3	13	0	0	0	3	0	3
2年	入学者	9	6	15	0	1	1	0	0	0	13	3	16	0	0	0	1	0	1
	増加	2	1	3			0			0			0			0			0
	減少	1	1	1			0			0			0			0			0
	2年時当初	10	7	17	0	1	1	0	0	0	13	3	16	0	0	0	1	0	1
3年	入学者	8	5	13	0	0	0	0	0	0	6	3	9	0	0	0	1	0	1
	増加			0			0			0			0			0			0
	減少			0			0			0			0			0			0
	2年時当初	8	5	13	0	0	0	0	0	0	6	3	9	0	0	0	1	0	1
4年	入学者	8	5	13	0	0	0	1	0	1	6	4	10	0	0	0	1	0	1
	増加			0			0			0			0			0			0
	減少			0			0			0			0			0			0
	3年時当初	8	5	13	0	0	0	1	0	1	6	4	10	0	0	0	1	0	1
5年	入学者	5	2	7	0	0	0	0	0	0									
	増加	1		1			0			1									
	減少			0			0			0									
	2年時当初	6	2	8	0	0	0	1	0	1									
6年	入学者	6	2	8	0	0	0	1	0	1									
	増加			0			0			0									
	減少			0			0			0									
	3年時当初	6	2	8	0	0	0	1	0	1									
7年	入学者	6	2	8	0	0	0	1	0	1									
	増加	1		1			0			0									
	減少			0			0			0									
	4年時当初	6	2	8	0	0	0	1	0	1									
8年	入学者	7	2	9	0	0	0	1	0	1									
	増加			0			0			0									
	減少			0			0			0									
	5年時当初	7	1	8	0	0	0	2	0	2									
9年	入学者	7	1	8	0	0	0	2	0	2									
	増加			0			0			0									
	減少			0			0			0									
	6年時当初	7	1	8	0	0	0	2	0	2									
10年	入学者	7	1	8	0	0	0	2	0	2									
	増加			0			0			1									
	減少			0			0			0									
	7年時当初	7	1	8	0	0	0	3	0	3									
11年	入学者	7	6	13	0	0	0	1	1	2									
	増加	1		1			0			0									
	減少			0			0			0									
	8年時当初	8	6	14	0	0	0	1	1	2									
12年	入学者	8	6	14	0	0	0	1	1	2									
	増加			0			0			0									
	減少			0			0			0									
	9年時当初	8	6	14	0	0	0	1	1	2									
13年	入学者	8	6	14	0	0	0	1	1	2									
	増加			0			0			0									
	減少			0			0			0									
	10年時当初	7	6	13	0	0	0	2	1	3									
14年	入学者	7	6	13	0	0	0	2	1	3									
	増加			0			0			0									
	減少			0			0			0									
	11年時当初	7	6	13	0	0	0	2	1	3									
合計	入学者	49	25	74	0	1	1	7	1	8	29	10	39	0	0	0	5	1	6
	現在	49	25	74	0	1	1	7	1	8	29	10	39	0	0	0	5	1	6

□□□□□□

在 籍 生 徒 調

学 部 区 分	学 年	高 等 部							
		本 校				訪 問 教 育			
		定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	計
1 年	入学者	42	23	10	33	0	0	0	0
	増加				0				0
	減少				0				0
	現在		23	10	33		0	0	0
2 年	入学者	21	11	9	20	0	0	0	0
	増加				0				0
	減少				0				0
	2年時当初		11	9	20		0	0	0
	増加				0				0
	減少				0				0
現在		11	9	20		0	0	0	
3 年	入学者	33	16	10	26	0	0	0	0
	増加			1	1				0
	減少		1	1	2				0
	2年時当初		15	10	25		0	0	0
	増加				0				0
	減少		2		2				0
	3年時当初		13	10	23		0	0	0
	増加				0				0
	減少				0				0
現在		13	10	23		0	0	0	
合 計		96	47	29	76	0	0	0	0

□□□□□□

入学志願者及び入学者数調

区分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
学部別		高等部	高等部	高等部	高等部	高等部
生徒定員 (A)		36	36	33	21	42
募集者数 (B)		36	36	33	21	42
志願者数	男	17	17	16	11	23
	女	8	10	10	9	10
	計 (C)	25	27	26	20	33
受検者数	男	17	17	16	11	23
	女	8	10	10	9	10
	計 (D)	25	27	26	20	33
合格者数	男	17	17	16	11	23
	女	8	10	10	9	10
	計 (E)	25	27	26	20	33
志願倍率 (C)／(B)		0.69	0.75	0.79	0.95	0.79
受検倍率 (D)／(B)		0.69	0.75	0.79	0.95	0.79
入学者数	男	17	17	16	11	23
	女	8	10	10	9	10
	計 (F)	25	27	26	20	33
充足率 (F)／(A)		0.69	0.75	0.79	0.95	0.79

□□□□□□□□

卒業生の動向調

区 分		中学部		高等部	合 計
		本校	分教室		
高等学校 (本科)	全日制			/	
	定時制			/	
	通信制			/	
特別支援学校高等部		13	4	/	17
その他高等学校等				/	
大学等	大学(学部)	/	/		
	短期大学(本科)	/	/		
	大学・短大の 通信教育学部等	/	/		
	その他大学等	/	/		
特別支援学校高等部専攻科		/	/		
専修学校(専門課程)					
専修学校(一般課程)・各種学校					
公共職業能力開発施設等					
就 職				5	5
上記以外※		1		21	22
不詳・死亡					
計(卒業者総数)		14	4	26	44

(再掲) 「上記以外※」のうち、社会福祉施設等入所、通所者

区 分		中学部		高等部	合 計
		本校	分教室		
児童福祉施設					
障害者支援施設		1		18	19
(うち就労系支援事業利用者)		(1)		(15)	(16)
医療機関					
計		1		18	19

□□□□□□

生徒の状況

1 生徒の出身地域及び通学方法

(1) 出身地 (訪問教育児童生徒を除く) (令和7年8月31日現在) (単位:人)

市町名		藤枝市	焼津市	島田市	牧之原市	御前崎市	吉田町	川根本町	合計
生徒数	本校	0	41	35	54	7	51	1	189
	分教室	1	2	9	0	0	1	1	14
	合計	1	43	44	54	7	52	2	203
構成比%		0.5	21.2	21.7	26.6	3.4	25.6	1.0	100%

(2) 通学方法 (訪問教育児童生徒を除く) (令和7年8月31日現在) (単位:人)

区分		スクールバス	公共交通機関	自家用車送迎	徒歩・自転車	なし	合計
生徒数	本校	87	22	53	27	0	189
	分教室	0	0	2	0	12	14
	合計	87	22	55	27	12	203
構成比%		42.9	10.8	27.1	13.3	5.9	100%

(3) 訪問教育の状況 (令和7年8月31日現在) (単位:人)

訪問教員等		市町	島田市	牧之原市	御前崎市	吉田町	計	
小・中学部	教諭	1	小学部	0	0	1	0	1
			中学部	0	0	0	0	0
高等部	教諭	1	高等部	0	0	0	0	
計		2	計	0	0	1	0	1

2 部(クラブ)の加入状況

(令和7年8月31日現在) (単位:人)

区分	高等部				
	本校				
	運動部	文化部	未加入者	計	
部(クラブ)数	1	2		3	
男子	1年	7	3	13	23
	2年	3	3	5	11
	3年	4	0	9	13
	計(A)	14	6	27	47
	構成比	29.8	12.8	57.4	100
女子	1年	0	3	7	10
	2年	0	2	7	9
	3年	0	1	9	10
	計(B)	0	6	23	29
	構成比	0.0	20.7	79.3	100
合計	(A+B)	14	12	50	76
	構成比	18.4	15.8	65.8	100

3 障害別児童生徒数

(令和7年8月31日現在)

(単位：人)

区分		1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	学級数		
小学部	単一障害	本校	6	7	8	5	2	5	33	8	
		分教室	0	0	1	1	2	1	5	3	
	重複障害	本校	6	9	3	4	3	6	31	11	
		分教室	0	0	0	0	1	2	3	2	
	肢体重複	本校	2	1	2	0	3	2	10	5	
		訪問	0	1	0	0	0	0	1	1	
	合計		14	18	14	10	11	16	83	30	
	中学部	単一障害	本校	6	9	5				20	4
			分教室	2	1	1				4	2
		重複障害	本校	5	5	5				15	6
分教室			1	0	1				2	1	
肢体重複		本校	2	2	0				4	2	
		訪問	0	0	0				0	0	
合計		16	17	12				45	15		
高等部		単一障害	本校	29	17	18				64	8
	重複障害	本校	3	3	3				9	3	
	肢体重複	本校	1	0	2				3	2	
		訪問	0	0	0				0	0	
	合計		33	20	23				76	13	

4 起因疾患別児童生徒数

(令和7年8月31日現在) (単位：人)

区分		自閉症	ダウン症	その他の染色体異常	脳性マヒ	その他の脳原性障害	脳炎等後遺症	水頭症小頭症	その他	計
小学部	本校	40	12	4	2	3	1	0	12	74
	分教室	5	0	0	0	0	0	0	3	8
中学部	本校	21	5	2	0	0	3	1	7	39
	分教室	4	0	0	0	0	0	0	2	6
高等部	本校	32	2	3	2	2	0	0	35	76
訪問		0	0	0	0	0	0	0	1	1
計		102	19	9	4	5	4	1	60	204

その他の染色体異常には、プラダウイリー症候群、遺伝子不均等、ウイリアムズ症候群などを含む。

てんかんは併発する症状として疾患に含めない。

その他には、診断のないもの、てんかん、発達障害や代謝異常を含む。

特別支援学校における生産物売払調

令和7年度
(令和7年8月31日現在)

主な生産品目			
令和7年度	<手芸品・工作物> 木製：ウッドプランター、ウッドボックス 紙：コースター <農作物・園芸品> えだまめ、ズッキーニ		
	① 売払金額	17,000 円	②前年度との差額 ▲297,900 円
令和6年度	<手芸品・工作物> 木製：ウッドボックス、コースター、スマホスタンド、ウッドプランター、アロマウッド 工芸：ランチバック、トートバック、トートバッグ横、ショルダーバッグ 紙：ボックス、ミニかご、ギフトバック、A4ボックス、巾着、丸カゴ、コースター、カレンダー、キーホルダー、ミニリース 革：小物入れ、カードケース、キーホルダー 布：ペンケース、コースター <農作物・園芸品> 小松菜、だいこん、さつまいも、ほうれん草、じゃがいも、えだまめ、ズッキーニ、ピーマン、ししとう、なす		
	① 売払金額	314,900 円	② 前年度との差額 ▲21,700 円
令和5年度	<手芸品・工作物> 木製：キーフック、ウッドボックス、コースター、スマホスタンド 工芸：ランチバック、トートバック、トートバック横 紙：リース、小物入れ、ミニかご、ヘアゴム、ギフトバック、ポチ袋、コースター、カレンダー 革：小物入れ、サコッシュ、カードケース 布：鉢カバー、スタイリッシュトート <農作物・園芸品> 小松菜、オクラ、レタス、だいこん、さつまいも、ブロッコリー、ほうれん草、じゃがいも、そらまめ、えだまめ、エシャロット、カリフラワー、ねぎ、空心菜、ズッキーニ、ピーマン、ししとう、スナックえんどう、なす、キャベツ		
	① 売払金額	336,600 円	② 前年度との差額 19,100 円

* 過去3年分を記載すること。

□□□□□□□□

預 金 調

(令和7年8月31日現在)

金融機関名	預金種類	口座番号	口座名義人	残高円	摘要
島田掛川信用金庫吉田支店	決済用 普通預金	0457753	静岡県立吉田特別支援学校 資金前渡者 伊藤 聖子	0	職員給与等用
島田掛川信用金庫吉田支店	決済用 普通預金	0461019	自振口静岡県立吉田特別支援学校 資金前渡者 伊藤 聖子	0	電気料等 口座振替用
静岡銀行吉田支店	無利息型 普通預金	0571336	静岡県立吉田特別支援学校奨励費 代理受領者 伊藤 聖子	0	就学奨励費用
残 高 合 計				0	

□□□□□□□□

郵 券 等 受 払 調

(令和7年8月31日現在)

(単位:枚、円)

区分	種 類	6年度						7年度						差引現在高	摘 要		
		繰 越		受 入		払 出		繰 越		受 入		払 出					
		枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額			枚数	金額
郵券	2円券	0	0	1	2	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	書類等 発送用
	5円券	0	0	1	5	1	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	10円券	19	190	0	0	7	70	12	120	0	0	0	0	12	120		
	16円券	0	0	4	64	4	64	0	0	0	0	0	0	0	0		
	26円券	0	0	20	520	14	364	6	156	0	0	3	78	3	78		
	40円券	0	0	1	40	1	40	0	0	0	0	0	0	0	0		
	63円券	1	63	0	0	1	63	0	0	0	0	0	0	0	0		
	84円券	34	2,856	80	6,720	108	9,072	6	504	0	0	3	252	3	252		
	85円券	0	0	1	85	0	0	1	85	0	0	0	0	1	85		
	94円券	5	470	0	0	5	470	0	0	0	0	0	0	0	0		
	110円券	0	0	129	14,190	99	10,890	30	3,300	120	13,200	48	5,280	102	11,220		
	120円券	4	480	0	0	0	0	4	480	0	0	0	0	4	480		
	140円券	3	420	0	0	2	280	1	140	0	0	0	0	1	140		
	レターバック ライト430円	0	0	1	430	1	430	0	0	0	0	0	0	0	0		
	計		4,479		22,056		21,750		4,785		13,200		5,610		12,375		
iTunes card	1,500円券	92	84,050	0	0	75	78,050	17	6,000	0	0	3	3,020	14	2,980	アプリ 購入	
	3,000円券	1	120	0	0	1	120	0	0	0	0	0	0	0	0		
	計		84,170		0		78,170		6,000		0		3,020		2,980		

□□□□□□□□

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

節名	会計	款	項	目	執行済額 (円)		
					5年度	6年度	左のうち、 5年度からの 繰越額分
(12)	一般	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費	31,851,980	37,097,280	
委託料	一般	教育費	学校教育費	健康体育費	11,772,871	15,165,196	
計					43,624,851	52,262,476	0
(14)	一般	教育費	教育委員会費	教育管理費	3,157,000		
工事請負費						0	
計					3,157,000	0	0
(16)					0		
公有財産購入費						0	
計					0	0	0
(17)	一般	教育費	教育委員会費	教育総務費		134,200	
備品購入費	一般	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費	1,637,220	1,425,600	
計					1,637,220	1,559,800	0
(18)	一般	教育費	教育委員会費	教育管理費			
負担金、補助 及び交付金	一般	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費	604,378	700,820	
計					604,378	700,820	0
(21)						0	
補償・補填 及び賠償金						0	
計					0	0	0

□□□□□□□□

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

(令和7年8月31日現在)

節名	会計	款	項	目	執行済額 (円)	
						うち、6年 度からの繰 越額分
(12)	一般	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費	12,342,220	0
委託料	一般	教育費	学校教育費	健康体育費	5,024,859	0
計					17,367,079	0
(14)	一般	教育費	教育委員会費	教育管理費	0	0
工事請負費						
計					0	0
(16)					0	0
公有財産購入費						
計					0	0
(17)	一般	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費	865,700	0
備品購入費						
計					865,700	0
(18)	一般	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費	38,000	0
負担金、補助 及び交付金						
計					38,000	0
(21)					0	0
補償・補填 及び賠償金						
計					0	0

□□□□□□

委 託 料 に 関 す る 調

(令和6年度)

整理 番号	委託業務名	受託者	当 初 設 計 金 額	契 約 金 額			契約 締結 方法	契約期間	支 出 年 月 日	金 額	委託業務の 内 容	摘 要	
				当 初 額	変 更 増 減 額	計							
1	(事務関係) スクールバス 運行管理業務	(株)KSドラ イバーサ ポート	17,954,651	円	円	円	円	一般	6. 4. 1 ～ 9. 3. 31	(累計 0)	スクールバスの 運行管理業務 1台(毎日)	3長期	
										6. 5. 31			429,000
										6. 6. 28			429,000
										6. 7. 31			429,000
										6. 8. 30			429,000
										6. 9. 30			429,000
										6. 10. 31			429,000
										6. 11. 29			429,000
										6. 12. 26			429,000
										7. 1. 31			429,000
										7. 2. 28			429,000
										7. 3. 31			429,000
										7. 4. 30			429,000
(小計 5,148,000)													
2	通学バス輸送 業務	吉田観光 (株)	98,161,250	円	円	円	円	一般	6. 4. 1 ～ 9. 3. 31	(累計 0)	吉田特別支援学 校に通学する児 童・生徒の送迎 等 2台(毎日)	3長期	
										6. 5. 31			2,587,970
										6. 6. 28			2,587,970
										6. 7. 31			2,587,970
										6. 8. 30			2,587,970
										6. 9. 30			2,587,970
										6. 10. 31			2,587,970
										6. 11. 29			2,587,970
										6. 12. 26			2,587,970
										7. 1. 31			2,587,970
										7. 2. 28			2,587,970
										7. 3. 31			2,587,970
										7. 4. 30			2,587,970
(小計 31,055,640)													
3	エレベータ保 守点検業務	三菱電機 ビルソ リユウ ションズ (株) 中部支社 静岡支店	594,000	円	円	円	円	随契	6. 4. 1 ～ 7. 3. 31	82,280	エレベータ の保守点検 (1台)	随契2号 (不適)	
										6. 6. 28			30,800
										6. 7. 31			30,800
										6. 8. 30			82,280
										6. 9. 30			30,800
										6. 10. 31			30,800
										6. 11. 29			82,280
										6. 12. 26			30,800
										7. 1. 31			30,800
										7. 2. 28			100,760
										7. 3. 31			30,800
										7. 4. 30			30,800
										(小計 594,000)			
4	給食業務	静岡給食 協同組合	55,260,137	円	円	円	円	一般	5. 11. 7 ～ 8. 7. 31	(累計 6,059,350)	主食・副食の調 理、食器等の洗 浄・保管及びこ れらに付随する 業務(毎日)	3長期	
										6. 5. 31			1,211,870
										6. 6. 28			1,211,870
										6. 7. 31			1,211,870
										6. 8. 30			1,211,870
										6. 9. 30			1,211,870
										6. 10. 31			1,211,870
										6. 11. 29			1,211,870
										6. 12. 26			1,211,870
										7. 1. 31			1,211,870
										7. 2. 28			1,211,870
										7. 3. 31			1,211,870
										7. 4. 30			1,211,870
(小計 14,542,440)													

(令和6年度)

整理 番号	委託業務名	受託者	当 初 設 計 金 額	契 約 金 額			契約 締 結 方 法	契約期間	支 出 年 月 日	金 額	委託業務の 内 容	摘 要
				当 初 額	変 更 増 減 額	計						
5	一般廃棄物収集運搬業務	(有)榛原クリーンサービス	◎可燃物 運搬料 3,300円/回 処分料 16.94円/kg	◎可燃物 運搬料 1,980円/回 処分料 16.5円/kg		◎可燃物 運搬料 1,980円/回 処分料 16.5円/kg	随契	6. 4. 11 7. 3. 31	6. 5. 17	29,832	一般廃棄物の収集運搬処分業務	随契1号 (少額) 単価契約
			6. 6. 28	43,906								
			6. 7. 31	45,672								
			6. 8. 30	43,312								
			6. 10. 31	37,867								
			6. 11. 29	47,041								
			6. 12. 26	44,764								
			7. 1. 31	26,499								
			7. 2. 28	33,264								
			7. 3. 31	40,276								
7. 4. 30	27,043											
	(小計 419,476)											
6	産業廃棄物収集・運搬処分業務(廃プラスチック類)	(株)アドバンス中部サービス	運搬料 3,630円/回 処分料 132円/kg	運搬料 3,630円/回 処分料 132円/kg		運搬料 3,630円/回 処分料 132円/kg	随契	6. 4. 19 7. 3. 31	6. 5. 15	8,118	廃プラスチック類の収集運搬処分業務	随契1号 (少額) 単価契約
			6. 6. 20	4,950								
			6. 7. 18	5,346								
			6. 8. 16	4,158								
			6. 9. 20	8,118								
			6. 10. 18	5,082								
			6. 11. 26	5,346								
			6. 12. 18	5,346								
			7. 1. 21	6,138								
			7. 2. 18	4,950								
7. 3. 19	6,798											
7. 4. 17	6,930											
	(小計 71,280)											
7	産業廃棄物収集・運搬及び処分業務(コンテナ)	(株)アドバンス中部サービス	82,500	82,500		82,500	随契	6. 5. 23 7. 3. 31	6. 10. 18 7. 3. 19 7. 4. 4	27,500 27,500 27,500	産業廃棄物収集運搬処分	随契1号 (少額)
										(小計 82,500)		
8	産業廃棄物収集・運搬及び処分業務	静和エンパイロメント(株)	38,500	38,500		38,500	随契	6. 7. 29 6. 9. 30	6. 8. 30	38,500	グリストラップ汚泥・廃油収集運搬及び処分	随契1号 (少額)
9	産業廃棄物収集・運搬及び処分業務	静和エンパイロメント(株)	55,000	55,000		55,000	随契	6. 12. 20 7. 2. 28	7. 1. 31	55,000	グリストラップ汚泥・廃油収集運搬及び処分	随契1号 (少額)
10	産業廃棄物収集・運搬及び処分業務	静和エンパイロメント(株)	38,500	38,500		38,500	随契	7. 3. 18 7. 3. 31	7. 4. 14	38,500	グリストラップ汚泥・廃油収集運搬及び処分	随契1号 (少額)
11	産業廃棄物収集・運搬及び処分業務	(株)アドバンス中部サービス	67,100	67,100		67,100	随契	6. 6. 17 6. 8. 30	6. 9. 20	67,100	産業廃棄物収集運搬処分	随契1号 (少額)
12	産業廃棄物収集・運搬及び処分業務	(株)アドバンス中部サービス	82,500	82,500		82,500	随契	7. 2. 28 7. 3. 31	7. 4. 7	82,500	産業廃棄物収集運搬処分	随契1号 (少額)
13	産業廃棄物収集・運搬及び処分業務	(株)アドバンス中部サービス	67,540	67,540		67,540	随契	7. 3. 10 7. 3. 31	7. 4. 14	67,540	産業廃棄物収集運搬処分	随契1号 (少額)
事務関係 計		13件	—	—						52,262,476		
合 計		13件	—	—						52,262,476		

(令和6年度)

整理 番号	委託業務名	受託者	当 初 設計金額	契 約 金 額			契約 締結 方法	契約期間	支 出 年月日	金 額	委託業務の 内 容	摘 要
				当初額	変 更 増減額	計						
参考 1	警備業務	総合警備 保障㈱静岡 支社		7,691,640		7,691,640		元.10.1 ∩ 6.9.30			学校休業日及び 夜間の機械警備 業務等	榛原高等 学校
参考 2	警備業務	セコム㈱		5,280,000		5,280,000		6.10.1 ∩ 11.9.30			学校休業日及び 夜間の機械警備 業務等	榛原高等 学校
参考 3	消防設備等 保守点検業務	静岡県消 防設備点 検業協同 組合		3,564,000		3,564,000		6.4.1 ∩ 7.3.31			自動火災報知 器、非常放送設 備、避難器具等 の保守点検 年2回	榛原高等 学校
参考 4	自家用電気工 作物保安管理 業務	遠鉄アシ スト㈱		1,371,480		1,371,480		6.4.1 ∩ 7.3.31			自家用電気工 作物保守点検 定期点検A 隔月1回 定期点検B 年1回	相良高等 学校
参考 5	可燃物収集 運搬処分業務	㈱榛原ク リーン サービス		運搬料 1,540円/回 処分料 16.5円/kg		運搬料 1,540円/回 処分料 16.5円/kg		6.4.9 ∩ 7.3.28			可燃物の収集・ 運搬・処分	榛原高等 学校
参考 6	GHPエアコ ン点検業務委 託	㈱エクノ スワタナ ベ		1,650,000		1,650,000		6.6.27 ∩ 7.3.10			GHPエアコ ン点検業務	榛原高等 学校
参考 7	水泳プール浄 化装置保守点 検業務委託	清化工業 ㈱		220,000		220,000		6.4.26 ∩ 6.11.29			水泳プール浄 化装置の点検調 整及び機能保 全	島田商業 高等学校
参考 8	建築基準法第 12条に基づく 定期点検業務 委託	エイ エイ チ設計 増田剛久		1,210,000		1,210,000		6.10.16 ∩ 7.1.31			建築基準法第1 2条に基づく定 期点検業務並び にその点検結果 資料等の作成	相良高等 学校

委 託 料 に 関 す る 調

(令和7年度)
(令和7年8月31日現在)

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法	契約期間	支 出 年月日	金 額	委託業務の内容	摘 要
				当初額	変更増減額	計						
1	(事務関係) スクールバス運行管理業務	(株)KSドライバーサポート	17,954,651	15,444,000	0	15,444,000	一般	6. 4. 1	7. 5. 30	(累計 5,148,000)	スクールバスの運行管理業務 1台(毎日)	3長期
								7. 6. 30	429,000			
								9. 3. 31	429,000			
								7. 8. 29	429,000			
									(小計 1,716,000)			
2	通学バス輸送業務	吉田観光(株)	98,161,250	93,170,000	0	93,170,000	一般	6. 4. 1	7. 5. 30	(累計 31,055,640)	吉田特別支援学校に通学する児童・生徒の送迎等 2台(毎日)	3長期
								7. 6. 30	2,587,970			
								9. 3. 31	2,587,970			
								7. 8. 29	2,587,970			
									(小計 10,351,880)			
3	エレベータ保守点検業務	三菱電機ビルソリューションズ(株)中部支社静岡支店	607,860	607,860	0	607,860	随契	7. 5. 30	7. 5. 30	84,370	エレベータの保守点検(1台)	随契2号(不適)
								7. 4. 1	7. 6. 30	31,350		
								7. 7. 31	31,350			
								8. 3. 31	7. 8. 29	84,370		
									(小計 231,440)			
4	給食業務	静岡給食協同組合	55,260,137	39,991,710	0	39,991,710	一般	5. 11. 7	7. 5. 30	(累計 20,601,790)	主食・副食の調理、食器等の洗浄・保管及びこれらに付随する業務(毎日)	3長期
								7. 6. 30	1,211,870			
								8. 7. 31	1,211,870			
								7. 8. 29	1,211,870			
									(小計 4,847,480)			
5	一般廃棄物収集運搬処分業務	(有)榛原クリーンサービス	◎可燃物 運搬料 3,300円/回 処分料 16.94円/kg ◎不燃物 運搬料 3,300円/回 処分料 16.94円/kg	◎可燃物 運搬料 1,980円/回 処分料 16.5円/kg ◎不燃物 運搬料 1,980円/回 処分料 16.5円/kg	◎可燃物 運搬料 1,980円/回 処分料 16.5円/kg ◎不燃物 運搬料 1,980円/回 処分料 16.5円/kg	随契	7. 4. 11	7. 5. 30	29,370	一般廃棄物の収集運搬処分業務(給食可燃物・不燃物) 185回	随契1号(少額)単価契約	
							7. 6. 30	39,814				
							8. 3. 31	48,460				
							7. 8. 29	34,303				
								(小計 151,947)				
6	産業廃棄物収集・運搬及び処分業務	(株)アドバンス中部サービス	運搬料 3,850円/回 処分料 132円/kg	運搬料 3,850円/回 処分料 132円/kg	運搬料 3,850円/回 処分料 132円/kg	随契	7. 4. 25	7. 5. 20	8,866	廃プラスチック類の収集運搬処分業務 12回	随契1号(少額)単価契約	
							7. 6. 19	4,774				
							8. 3. 31	7. 7. 18	6,226			
							7. 8. 20	5,566				
								(小計 25,432)				
7	産業廃棄物収集・運搬及び処分業務	(株)アドバンス中部サービス	運搬料 7,700円/回 処分料 19,800円/2㎡	運搬料 7,700円/回 処分料 19,800円/2㎡	運搬料 7,700円/回 処分料 19,800円/2㎡	随契	7. 5. 22			コンテナ設置方式による産業廃棄物収集運搬処分 2㎡×3回	随契1号(少額)	
							8. 3. 31					
8	産業廃棄物収集・運搬及び処分業務	(株)アドバンス中部サービス	42,900	42,900	42,900	随契	7. 5. 22			産業廃棄物収集運搬処分	随契1号(少額)	
							7. 8. 29	7. 7. 31	42,900			
事務関係 計		8件	—	—						17,367,079		
合 計		8件	—	—						17,367,079		

(令和7年度)
(令和7年8月31日現在)

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
				当初額	変更増減額	計						
参考 1	警備業務	セコム(株)		5,280,000		5,280,000		6.10.1 ∩ 11.9.30			学校休業日及び夜間の機械警備業務等	榛原高等学校
参考 2	消防設備等保守点検業務	静岡県消防設備保守点検業協同組合		3,828,000	40,700	3,868,700		7.4.1 ∩ 8.3.31			自動火災報知器、非常放送設備、避難器具等の保守点検 年2回	榛原高等学校
参考 3	自家用電気工作物保安管理業務	遠鉄アシスト(株)		1,409,760		1,409,760		7.4.1 ∩ 8.3.31			自家用電気工作物保守点検 定期点検A 隔月1回 定期点検B 年1回	相良高等学校
参考 4	可燃物収集運搬処分業務	南榛原クリーンサービス		運搬料 1,540円/回 処分料 16.5円/kg		運搬料 1,540円/回 処分料 16.5円/kg		7.4.8 ∩ 8.3.31			可燃物の収集・運搬・処分	榛原高等学校
参考 5	GHPエアコン点検業務委託	(株)エクノスワタナベ		1,320,000		1,320,000		7.5.28 ∩ 8.3.10			GHPエアコン点検業務	榛原高等学校
参考 6	水泳プール浄化装置保守点検業務委託	清化工業(株)		231,000		231,000		7.4.28 ∩ 7.11.28			水泳プール浄化装置の点検調整及び機能保全	島田商業高等学校

□□□□□□

負 担 金 支 出 調

(令和6年度)

整理番号	負 担 金 名	交 付 先	負担根拠	事 業 内 容	負担金額	支出年月日
1	特別管理産業廃棄物管理責任者講習会受講料	公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センター	廃棄物処理法施行規則	特別管理産業廃棄物に係わる管理全般にわたる業務の必要な知識及び技能修得	13,200	6.5.27
2	東海地区特別支援学校知的障害教育校長会会費	東海地区特別支援学校知的障害教育校長会会長	会則	教育の充実改善の推進、調査・研究	5,000	6.7.31
3	全国特別支援学校知的障害教育校長研究大会参加費	全国特別支援学校知的障害教育校長研究大会実行委員長	開催要項	全国特別支援学校知的障害教育校長研究大会	3,000	6.7.31
4	駿遠分教室管理費負担金	駿遠学園管理組合	駿遠分教室管理費負担協議書	電気・水道・浄化槽・貯水槽・消防設備負担金	657,120	6.10.30
5	重度心身障害児(者)対応支援従事者養成研修受講料	社会福祉法人小羊学園つばさ静岡施設長	開催要領	重度心身障害児(者)対応支援従事者養成研修への参加	3,000	6.10.17
6	全国特別支援学校知的障害教育校長会会費	全国特別支援学校知的障害教育校長会会長	会則	全国特別支援学校知的障害教育校長会	15,000	6.11.25
7	安全運転管理者等講習会手数料	一般社団法人静岡県安全運転管理協会会長	道路交通法第74条の3第8項	道路交通法第108条の2第1項第1号に規定する安全運転管理者等講習	4,500	6.12.3
	計	7件			700,820	

□□□□□□

負 担 金 支 出 調

(令和7年度)
(令和7年8月31日現在)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	全国特別支援学校知的障害教育校長研究大会参加費	全国特別支援学校知的障害教育校長研究大会実行委員長	開催要項	全国特別支援学校知的障害教育校長研究大会	3,000	7.7.15
2	全国特別支援学校知的障害教育校長会会費	全国特別支援学校知的障害教育校長会会長	会則	全国特別支援学校知的障害教育校長会	15,000	7.7.15
3	発達障がい支援セミナー参加費	学校法人大阪YMCA 大阪YMCA国際専門学校国際高等課程 大阪YMCA総合教育センター	開催案内	発達障がい支援セミナーへの参加(団体視聴)	15,000	7.8.20
4	東海地区特別支援学校知的障害教育校長会会費	東海地区特別支援学校知的障害教育校長会会長	会則	教育の充実改善の推進、調査・研究	5,000	7.8.29
	計	4件			38,000	

□□□□□□

建 築 工

(参考)

整理 番号	予算科目	工 事 名	工 事 箇 所	当 初 設計金額	契 約 金	
					当初額	変更増減額
1	教育管理費	吉田特別支援学校 空調設備設置他工 事	榛原郡吉田町 片岡地内	円 16,522,000	円 15,950,000	円 143,000

令和7年度
(令和7年8月31日現在)

該当工事なし

事 調

(令和6年度)

額	契約 締結 方法	受 注 者	着 手 完 成 年 月 日	支出済額	工事概要	公有 財産 台帳	摘 要
計							
円				円			
16,093,000	一般	(株)日進設備	着手 6.7.2 完成 6.10.23	16,093,000	会議室に空調機を 新設、PC室及び応 接室の空調機を更 新	予	交通基盤部 設備課

□□□□□□

公 有 財 産 調

【本校】

(令和6年度)

区 分	令和6年3月31日現在		増		減		令和7年3月31日現在		摘要
	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	
行政財産		千円 1,058,287		千円 -		千円 29,993		千円 1,028,294	
土地	㎡ 18,499.00	620,049					㎡ 18,499.00	620,049	
立木竹	本 337	9,934					本 337	9,934	
建 物	㎡ 4,304.72	224,938				11,131	㎡ 4,304.72	213,807	価格改定
	11,886.59						11,886.59		
工作物	個 87	203,366			1	18,862	個 86	184,504	価格改定
公有財産に準ずるもの		73						73	
電話加入権	1	73					1	73	

【駿遠分教室】

区 分	令和6年3月31日現在		増		減		令和7年3月31日現在		摘要
	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	
行政財産		千円 2,921		千円		千円 1,505		千円 1,416	
土地	㎡						㎡		
立木竹	本						本		
建 物	㎡ 112.00	2,389				973	㎡ 112.00	1,416	価格改定
	224.00						224.00		
工作物	個 2	532				532	個 2	0	価格改定
公有財産に準ずるもの		146						146	
電話加入権	2	146					2	146	

令和7年度中 増減なし

□□□□□□

借地借家等調

(令和7年8月31日現在)

整理番号	区分	種別	所在地	地目		数量 又は 面積 m ²	借料		契約期間	所有者又は 契約者氏名	用途
				台帳	現況		単価 円	年額 円			
1	土地	敷地	榛原郡 吉田町 片岡2130	校舎 敷地	校舎 敷地	12,775.44		無償	7.4.1 ～ 8.3.31	吉田町長	学校敷地
2	土地	敷地	島田市 福用112	宅地	校舎 敷地	114.16		8,808	27.4.1 ～ 19.3.31	島田市長	分教室 校舎・物置 敷地
	土地計					12,889.60		8,808			
3	建物	事務所 所建	島田市 福用112	鉄筋コンクリート 2階建		<u>243.54</u> 243.54		3,207,800	7.4.1 ～ 8.3.31	駿遠学園 管理組合	駿遠分教室 教室
4	建物	事務所 所建	島田市 福用112	鉄骨ALC 折板葺 一部 2階建		<u>454.95</u> 480.14					駿遠分教室 体育館
5	建物	事務所 所建	島田市 福用112	鉄骨ALC 折板葺 一部 2階建		<u>2,2738</u> 2,2738					無償
	建物計					<u>700.76</u> 725.95		3,207,800			
計								3,216,608			

□□□□□□□□

事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調

(令和7年度)

(令和7年8月31日現在)

区分	事業名又は 契約名	内容	契約額	5年度	6年度	7年度	8年度
長期継続契約	給食調理配膳業務	給食調理配膳業務 (契約日) 令和5年11月6日	39,991,710	6,059,350	14,542,440	14,542,440	4,847,480
長期継続契約	スクールバス 運行管理業務	スクールバス運行管理業務 (契約日) 令和6年4月1日	15,444,000		5,148,000	5,148,000	5,148,000
長期継続契約	通学バス 輸送業務	通学バス輸送業務 (契約日) 令和6年4月1日	93,170,000		31,055,640	31,055,640	31,058,720

□□□□□□

行政財産貸付・使用許可調

(令和7年8月31日現在)

整理 番号	区分	種別	所在地	地目		数量 又は 面積	貸付料又は 使用料		貸付又は 使用許可 期間	貸付又は使用許可を 受けた者の氏名	貸付・使用 許可目的
				台帳	現況		単価	年額			
								㎡	円	円	
1	土地	学校敷地	榛原郡吉田町片岡2130	学校敷地	学校敷地	0.70	円	円 免除	7.4.1 } 12.3.31	清流館高等学校後援会長	記念碑の設置
2	土地	学校敷地	榛原郡吉田町片岡2130	学校敷地	学校敷地	0.70	円	円 免除	5.4.1 } 10.3.31	吉田町長	広域避難地看板 の設置
3	土地	学校敷地	榛原郡吉田町片岡2130	学校敷地	学校敷地	支線柱1本 支線1条	円 1,500	円 3,000	4.4.1 } 9.3.31	中部電力パワーグリッド(株) 静岡支社 島田営業所長	電力供給用 電柱等
4	土地	学校敷地	榛原郡吉田町片岡2130	学校敷地	学校敷地	電柱1本 支線1条	円 1,500	円 3,000	4.4.1 } 9.3.31	NTT西日本(株) 静岡支店長	電気通信事業用 電柱等
5	土地	学校敷地	榛原郡吉田町片岡2130	学校敷地	学校敷地	0.01	円	円 免除	4.4.1 } 9.3.31	(公社)静岡県造園緑化協会会長	記念碑の設置
6	建物	事務所建	榛原郡吉田町片岡2130	RC 5階建	RC 5階建	402.75		免除	3.4.1 } 8.3.31	吉田町長	災害対策用 物資保管場所
7	建物	事務所建	榛原郡吉田町片岡2130	RC 3階建	RC 3階建	0.01		免除	3.4.1 } 8.3.31	吉田町長	災害対策用 特設公衆電話
合	計							6,000			

□□□□□□□□

主 要 備 品 調

(令和7年8月31日現在)

整理 番号	区 分		品名・規格	利 用 状 況	購 入 年 月	購 入 金 額
	大・中	小				
1	10-06	その他の家庭科用器具	入浴装置 実習用バスタブ RDB-3300	利用していない	平成 8年 2月	円 15,007,100
2	1-13	調理器具	真空冷却機	毎日（年間180日） 給食業務用	平成27年 3月	円 2,960,064
3	10-6	その他の家庭科用器具	視聴覚機器 プロジェクター他	利用していない	平成 8年 2月	2,072,900
4	1-13	調理器具	コンビオーブン（ガス 式）	週3回（年間108日） 給食業務用	平成27年 3月	2,014,524
5	10-6	その他の家庭科用器具	いす式階段昇降機 スーパーレーターα	利用していない	平成 9年 1月	1,972,450
6	6-9	木工用機械	パネルソー	週2回（年間80日） 高等部の木工実習用	平成27年12月	1,587,600
7	1-13	食品食器洗浄機	ドアタイプ自動食器洗浄 器	毎日（年間180日） 給食業務用	平成27年 3月	1,413,720
8	10-6	その他の家庭科用器具	その他の家庭科用器具 入浴用担架 WS-350特型	利用していない	平成13年 2月	1,365,000
9	10-6	その他の家庭科用器具	その他の家庭科用器具 入浴用担架 WS-350特型	利用していない	平成13年 2月	1,365,000
10	2-1	パーソナルコンピュータ （一式）	校内LAN用サーバ（一式）	利用していない	平成27年 3月	1,240,488
11	1-13	その他の厨房機器	電気式食器消毒保管機	毎日（年間180日） 給食業務用	平成27年 3月	1,138,860
12	10-6	その他の家庭科用器具	昇降訓練用階段 移動式ユニット階段	利用していない	平成 8年 3月	1,081,500
13	2-2	放送装置	放送装置 体育館放送装置	毎日（年間199日） 学習用・管理用	平成 4年 7月	1,030,000
14	1-13	調理器具	ステンレス製回転釜 110L	毎日（年間180日） 給食業務用	令和 2年 8月	935,000
15	1-13	冷蔵（凍）庫	パススルー冷蔵庫	毎日（年間180日） 給食業務用	平成27年 3月	907,416
16	10-12	バスケット用器具	バスケット用器具 ボールゴール壁面固定	週4日（年間200日） 施設開放用	昭和50年 3月	800,000
17	10-12	バスケット用器具	バスケット用器具 ボールゴールギャラリー	週4日（年間200日） 施設開放用	昭和51年 3月	800,000
18	4-3	運搬用具	運搬用具 ストレッチャーST	利用していない	平成10年 9月	751,800
19	1-13	その他の厨房器具	電気式器具消毒保管機	毎日（年間180日） 給食業務用	平成27年 3月	693,252
20	1-13	調理器具	ガス式立体炊飯器	毎日（年間180日） 給食業務用	平成28年 3月	666,360

□□□□□

職 員 調

(令和7年8月31日現在)

整理 番号	職 名	氏 名	事務分担	住 所	勤務年数	摘 要
1	校 長	伊藤 聖子		□□□□	年 月 □ □	□□□□□
2	副校長	松本 比呂美		□□□□	□ . □	□□□□□
3	教 頭	鈴木 淳也		□□□□	□ . □	□□□□□
4	教 諭	瀧田 澄江	高等部	□□□□	□ . □	□□□□□
5	教 諭	岩倉 千秋	小学部	□□□□	□ . □	□□□□□
6	教 諭	西村 智子	高等部	□□□□	□ . □	□□□□□
7	教 諭	鈴木 治子	中学部	□□□□	□ . □	□□□□□
8	教 諭	中村 研司	高等部	□□□□	□ . □	□□□□□
9	教 諭	山本 知美	小学部	□□□□	□ . □	□□□□□
10	教 諭	田中 稔子	小学部	□□□□	□ . □	□□□□□
11	教 諭	松浦 ゆか	中学部	□□□□	□ . □	□□□□□
12	教 諭	見崎 由紀子	高等部	□□□□	□ . □	□□□□□
13	教 諭	秋山 千穂子	小学部	□□□□	□ . □	□□□□□
14	教 諭	安池 郁乃	訪問	□□□□	□ . □	□□□□□
15	教 諭	菅野 圭	高等部	□□□□	□ . □	□□□□□
16	教 諭	小島 洋	小学部	□□□□	□ . □	□□□□□
17	教 諭	佐野 日出美	高等部	□□□□	□ . □	□□□□□
18	教 諭	鍋田 尚美	中学部	□□□□	□ . □	□□□□□
19	教 諭	長橋 理恵	小学部	□□□□	□ . □	□□□□□
20	教 諭	土屋 潤一郎	中学部	□□□□	□ . □	□□□□□
21	教 諭	白松 晃子	訪問	□□□□	□ . □	□□□□□
22	教 諭	志水 梓	中学部	□□□□	□ . □	□□□□□
23	教 諭	清水 景子	高等部	□□□□	□ . □	□□□□□
24	教 諭	和田 加恵子	小学部	□□□□	□ . □	□□□□□
25	教 諭	佐原 佳世	高等部	□□□□	□ . □	□□□□□
26	教 諭	岡本 広美	高等部	□□□□	□ . □	□□□□□
27	教 諭	斎藤 小百合	高等部	□□□□	□ . □	□□□□□
28	教 諭	内藤 朋子	高等部	□□□□	□ . □	□□□□□
29	教 諭	小野田 朋弘	中学部	□□□□	□ . □	□□□□□
30	教 諭	山木 美沙枝	小学部	□□□□	□ . □	□□□□□
31	教 諭	原口 りさ	小学部	□□□□	□ . □	□□□□□
32	教 諭	山下 蛍	高等部	□□□□	□ . □	□□□□□
33	教 諭	服部 千賀	小学部	□□□□	□ . □	□□□□□
34	教 諭	森本 綾子	高等部	□□□□	□ . □	□□□□□
35	教 諭	高橋 優	中学部	□□□□	□ . □	□□□□□
36	教 諭	加茂 真澄	中学部	□□□□	□ . □	□□□□□
37	教 諭	河野 康平	小学部	□□□□	□ . □	□□□□□
38	教 諭	青木 真依	小学部	□□□□	□ . □	□□□□□
39	教 諭	村上 力	高等部	□□□□	□ . □	□□□□□
40	教 諭	中田 健太	中学部	□□□□	□ . □	□□□□□
41	教 諭	宮川 朋子	高等部	□□□□	□ . □	□□□□□

整理 番号	職 名	氏 名	事 務 分 担	住 所	勤 務 年 数	摘 要
42	教 諭	深津 臣	高等部	□□□□	□ . □	□□□□□
43	教 諭	土橋 達也	小学部	□□□□	□ . □	□□□□□
44	教 諭	野田 清志	高等部	□□□□	□ . □	□□□□□
45	教 諭	橋爪 千明	小学部	□□□□	□ . □	□□□□□
46	教 諭	立花 由理	高等部	□□□□	□ . □	□□□□□
47	教 諭	疋田 沙織	小学部	□□□□	□ . □	□□□□□
48	教 諭	八木 真生	高等部	□□□□	□ . □	□□□□□
49	教 諭	上田 昂太	高等部	□□□□	□ . □	□□□□□
50	教 諭	榛葉 和		□□□□	□ . □	□□□□□
51	教 諭	望月 早美		□□□□	□ . □	□□□□□
52	教 諭	清水 泰裕	中等部	□□□□	□ . □	□□□□□
53	教 諭	松崎 絢乃	小学部	□□□□	□ . □	□□□□□
54	教 諭	栞原 信彦	高等部	□□□□	□ . □	□□□□□
55	教 諭	大場 和		□□□□	□ . □	□□□□□
56	教 諭	山下 翔	小学部	□□□□	□ . □	□□□□□
57	教 諭	高橋 一紗	中学部	□□□□	□ . □	□□□□□
58	教 諭	海野 孝太郎	小学部	□□□□	□ . □	□□□□□
59	教 諭	井櫻 涼平	中学部	□□□□	□ . □	□□□□□
60	教 諭	下山 瞬	小学部	□□□□	□ . □	□□□□□
61	教 諭	多々良 基子	小学部	□□□□	□ . □	□□□□□
62	教 諭	池谷 典子	小学部	□□□□	□ . □	□□□□□
63	教 諭	山下 亜沙美	中学部	□□□□	□ . □	□□□□□
64	教 諭	望月 愛弓	小学部	□□□□	□ . □	□□□□□
65	教 諭	小笠原 知美	中学部	□□□□	□ . □	□□□□□
66	教 諭	野村 香菜子	小学部	□□□□	□ . □	□□□□□
67	教 諭	長田 聖華	小学部	□□□□	□ . □	□□□□□
68	教 諭	宮津 祥太	高等部	□□□□	□ . □	□□□□□
69	教 諭	秋山 こなみ	中学部	□□□□	□ . □	□□□□□
70	教 諭	松澤 諒	小学部	□□□□	□ . □	□□□□□
71	教 諭	鈴木 里紗	小学部	□□□□	□ . □	□□□□□
72	教 諭	竹田 知弘	小学部	□□□□	□ . □	□□□□□
73	教 諭	多々良 祐人	高等部	□□□□	□ . □	□□□□□
74	教 諭	黒柳 建太	中学部	□□□□	□ . □	□□□□□
75	教 諭	北野谷 弥玖	高等部	□□□□	□ . □	□□□□□
76	教 諭	小澤 華那子	小学部	□□□□	□ . □	□□□□□
77	教 諭	神田 貴浩	小学部	□□□□	□ . □	□□□□□
78	教 諭	佐々木 愛実	小学部	□□□□	□ . □	□□□□□
79	教 諭	加藤 綾	小学部	□□□□	□ . □	□□□□□
80	教 諭	吉田 萌	中学部	□□□□	□ . □	□□□□□
81	教 諭	岡田 大輝	高等部	□□□□	□ . □	□□□□□
82	教 諭	松本 樹依	小学部	□□□□	□ . □	□□□□□
83	教 諭	三澤 凧乃	小学部	□□□□	□ . □	□□□□□
84	教 諭	上野 かすみ	小学部	□□□□	□ . □	□□□□□
85	教 諭	松永 麻友子	高等部	□□□□	□ . □	□□□□□

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
86	養護教諭	安田 美峰子	養護	□□□□	□ . □	□□□□□
87	養護教諭	山中 夏葉	養護	□□□□	□ . □	□□□□□
88	栄養教諭	小栗 美樹子	給食指導	□□□□	□ . □	□□□□□
89	事務長	土戸 美樹	事務総括	□□□□	□ . □	□□□□□
90	主査	滝口 博子	施設・管財	□□□□	□ . □	□□□□□
91	主査	名波 由佳理		□□□□	□ . □	□□□□□
92	主任	塚本 光毅	人事給与	□□□□	□ . □	□□□□□
93	主任	松永 果奈実	会計	□□□□	□ . □	□□□□□

駿遠分教室

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
94	教頭	杉本 友紀乃		□□□□□	□ . □	□□□□□
95	教諭	山下 光司	中学部	□□□□	□ . □	□□□□□
96	教諭	小川 陽子	小学部	□□□□	□ . □	□□□□□
97	教諭	奥本 多美恵	小学部	□□□□	□ . □	□□□□□
98	教諭	紅林 亜朋	小学部	□□□□	□ . □	□□□□□
99	教諭	下田 絵里	中学部	□□□□	□ . □	□□□□□
100	教諭	北川 文佳		□□□□	□ . □	□□□□□
101	教諭	平松 寛哲	中学部	□□□□	□ . □	□□□□□
102	教諭	松本 紳	小学部	□□□□	□ . □	□□□□□
103	教諭	細田 翔生	中学部	□□□□	□ . □	□□□□□
				平均年数	0 . 0	(本校・分教室)

□□□□□□

職 員 調

(令和7年8月31日現在)

臨時職員

整理 番号	職 名	氏 名	事 務 分 担	住 所	勤務年数	摘 要
1	教諭(任)	平口 亜衣	小学部	□□□□	年 月 □ □	□□□□□
2	教諭(任)	佐藤 悦久	中学部	□□□□	□ . □	□□□□□
3	教諭(任)	鈴木 由美	高等部	□□□□	□ . □	□□□□□
4	教諭(任)	笹 ひとみ	高等部	□□□□	□ . □	□□□□□
5	教諭(任)	頭師 未来	小学部	□□□□	□ . □	□□□□□
6	教諭(臨)	福村 夏奈	小学部	□□□□	□ . □	□□□□□
7	教諭(臨)	庄司 淳也	高等部	□□□□	□ . □	□□□□□
8	教諭(臨)	石間 真由美	中学部	□□□□	□ . □	□□□□□
9	教諭(臨)	小嶋 純子	高等部	□□□□	□ . □	□□□□□
10	教諭(臨)	市川 尚美	中学部	□□□□	□ . □	□□□□□
11	教諭(臨)	竹島 正樹	高等部	□□□□	□ . □	□□□□□
12	教諭(臨)	島田 智代	高等部	□□□□	□ . □	□□□□□
13	教諭(臨)	星野 良則	中学部	□□□□	□ . □	□□□□□

非常勤職員

整理 番号	職 名	氏 名	事 務 分 担	住 所	勤務年数	摘 要
14	非常勤講師	山本 文明	小学部、高等部	□□□□	□ . □	□□□□□
15	医療的ケア看護職員	増田 和泉	医療的ケア	□□□□	□ . □	□□□□□
16	医療的ケア看護職員	久力 優子	医療的ケア	□□□□	□ . □	□□□□□
17	医療的ケア看護職員	田邊 昌代	医療的ケア	□□□□	□ . □	□□□□□
18	実習支援指導員	小泉 智子	実習支援	□□□□	□ . □	□□□□□
19	実習支援指導員	田中 夕起子	実習支援	□□□□	□ . □	□□□□□
20	非常勤労務職員	鈴木 克己	校内環境整備	□□□□	□ . □	□□□□□
21	非常勤労務職員	杉本 利美	校内環境整備	□□□□	□ . □	□□□□□
22	非常勤労務職員	小柳 昭子	スクールバス介助	□□□□	□ . □	□□□□□
23	非常勤労務職員	松永 輝乃	スクールバス介助	□□□□	□ . □	□□□□□
24	非常勤労務職員	市川 頼子	スクールバス介助	□□□□	□ . □	□□□□□
25	非常勤労務職員	滝井 義廣	スクールバス介助	□□□□	□ . □	□□□□□
26	非常勤労務職員	田村 このみ	スクールバス介助	□□□□	□ . □	□□□□□
27	非常勤嘱託員	小泉 泰成	事務補助	□□□□	□ . □	□□□□□
28	非常勤嘱託員	佐々木 良一	実習支援員	□□□□	□ . □	□□□□□
29	非常勤嘱託員	池田 周世	実習支援員	□□□□	□ . □	□□□□□
30	学校医 健康管理医	田崎 健	内科	□□□□	□ . □	□□□□□
31	学校医	石田 玲子	眼科	□□□□	□ . □	□□□□□
32	学校医	酒井 丈夫	耳鼻科	□□□□	□ . □	□□□□□
33	学校歯科医	赤堀 仁則		□□□□	□ . □	□□□□□
34	学校薬剤師	鬼頭 光輝		□□□□	□ . □	□□□□□

駿遠分教室

整理 番号	職 名	氏 名	事 務 分 担	住 所	勤務年数	摘 要
35	教諭(臨)	石原 千佳子	小学部	□□□□	□ . □	□□□□□
36	非常勤養護教諭	大村 朱美	養護	□□□□	□ . □	□□□□□
37	非常勤嘱託員	宮路 希子	事務補助	□□□□	□ . □	□□□□□
38	非常勤労務職員	丸山 成己	校内環境整備	□□□□	□ . □	□□□□□
39	学校医 健康管理医	横田 彬彦	内科	□□□□	□ . □	□□□□□
40	学校歯科医	又平 基史		□□□□	□ . □	□□□□□

□□□□□□□

職員の年齢調

(令和7年8月31日現在)

年 齢	人 員	摘 要
20歳未満	0 人	
20歳以上30歳未満	16	
30歳以上40歳未満	41	
40歳以上50歳未満	20	
50歳以上56歳未満	17	
56歳以上61歳未満	7	
61歳以上	2	再任用2人
計	103	平均年齢 40.9 歳

□□□□□□□□

健康管理

1 6年度受診状況

区 分	内 容
受 診 状 況	受診者数 102人
	職員数 104人
受 診 率	100%
県平均受診率	100%

(1) 未受診の理由
育休 2人

2 7年度在籍者の健康管理区分結果

健 康 管 理 区 分			人 数
A	休養のため必要な期間、勤務を休止させる。		0人
B 1	勤務時間を短縮し、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張をさける。また、必要に応じ勤務場所、勤務内容の変更を行う。	要 治 療	0人
B 2		要経過観察	0人
C 1	勤務をほぼ平常に行ってよいが症状によっては、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張等勤務に制限を加える必要がある。	要 治 療	0人
C 2		要経過観察	0人
D 1	平常の勤務でよい。	要 治 療	20人 (20人)
D 2		要経過観察	17人 (17人)
D 3		医 療 不 要	60人 (60人)
区 分 者 計			97人 (97人)
未区分者数			6人
合 計			103人

(1) 管理区分 A～C 2
該当者に対する措置
状況

(2) 未区分の理由
ア 産休・育休 2人
イ 新規採用 4人
ウ 自己都合による未受診人
エ その他 人